

この「答えとてびき」はとりはずしてお使いください。



教科書ぴったりトレーニング

答えとてびき

学校図書版 算数 3年



◆ **もんだい問題がとけたら...**

- ① まずは答え合わせをしましょう。
- ② 次に^{つぎ}てびきを読んでかくにんしましょう。

🏠 おうちのがたへ では、次のようなものを示しています。

- 学習のねらいやポイント
- 他の学年や他の単元の学習内容とのつながり
- まちがいやすいことやつまずきやすいところ

お子様への説明や、学習内容の把握などにご活用ください。

🕒 あげの5分レッスン では、

学習の最後に取り組む内容を示しています。
学習をふりかえることで学力の定着を図ります。

答え合わせの時間短縮に 丸つけラクラク解答 デジタルもご活用ください!

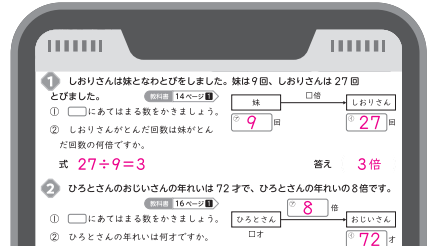
右の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、赤字解答の入った本文紙面を見ながら簡単に答え合わせができます。



丸つけラクラク解答デジタルは以下の URL から確認できます。

<https://www.shinko-keirinwebshop.com/shinko/2024pt/rakurakudegi/MGT3da/index.html>

- ※丸つけラクラク解答デジタルは無料でご利用いただけますが、通信料金はお客様のご負担となります。
- ※QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



1 かけ算

ぴったりに1 じゃんび

2 ページ

- 1 (1) 8、8 (2) 3、3 (3) 8

ぴったりに2 練習

3 ページ

てびき

- 1 ① 7 ② 6

- 2 ① 3 ② 3 ③ 6 ④ 5

- 3 ① 2、14、42
② 45、3、72

- 4 ① 3
② 3
③ 3、3、6

- 1 かけられる数とかける数を入れかえて計算しても、答えは同じになります。

- 2 ①③かける数が | ふえると、答えはかけられる数だけふえます。
②④かける数が | へると、答えはかけられる数だけへります。
計算をして、たしかめておきましょう。

- 3 ①かけられる数を分けて考えています。
②かける数を分けて考えています。

- 4 ①②けつ合のきまり^{つか}を使っています。
③かけられる数を分かいて、けつ合のきまりを使って | けたどうしのかけ算になおしています。

🕒 あげの5分レッスン かけ算のきまりにはどういうものがあつたかを、もう | 回かくにんしよう。

- 1 (1)0 (2)0 (3)0
 2 (1)40 (2)42、18、60

- 1 ①0 ②0 ③0 ④0 ⑤0 ⑥0
 2 ①6、60
 ②4、40
 ③40
 ④6、48、80
 ⑤8、16、20
 3 ①30 ②70 ③90 ④70 ⑤100

- 1 どんな数に0をかけても、0にどんな数をかけても、答えは0になります。
 2 ①②かける数が1ふえると、答えは、かけられる数だけふえます。
 ③②の答えと同じになります。
 ④かけられる数を分けて考えています。
 ⑤かける数を分けて考えています。
 3 ④10を5と5に分けると、
- $$10 \times 7 \begin{cases} 5 \times 7 = 35 \\ 5 \times 7 = 35 \\ \hline \text{合わせて } 70 \end{cases}$$
- 交かんのきまりを使って、②より、
 $10 \times 7 = 7 \times 10 = 70$ ともとめることもできます。
 ⑤10のだんのかけ算を考えると、
 $10 \times 1 = 10$ 、 $10 \times 2 = 20$ 、 $10 \times 3 = 30$ 、 $10 \times 4 = 40$ 、…
 と答えが10ずつふえていきます。
 $10 \times 10 = 10 \times 9 + 10 = 100$

🎯しあげの5分レッスン 0と10の列をたした、かけ算の表をつくってみよう。

- 1 ①9
 ②35、3、56
 ③9
 ④2
 2 ①0 ②0 ③60 ④30 ⑤42 ⑥40
 3 ウとカ

- 1 ②8は5と3に分けられます。
 ③6は7より1小さいから、 9×6 の答えは 9×7 の答えよりかけられる数だけ小さくなります。
 ④かけるじゅんじょをかえて計算しても、答えは同じになります。
 2 ③10のだんのかけ算を作って考えましょう。
 ④ $3 \times 10 = 3 \times 9 + 3$
 ⑤ $(7 \times 2) \times 3 = 7 \times (2 \times 3) = 7 \times 6 = 42$
 ⑥ $(5 \times 4) \times 2 = 5 \times (4 \times 2) = 5 \times 8 = 40$
 3 それぞれの答えは、
 ア60
 ① $(2 \times 2) \times 4 = 4 \times 4 = 16$
 ウ $5 \times (2 \times 4) = 5 \times 8 = 40$
 エ80
 ④30
 カ40

4 式 $7 \times 10 = 70$ 答え 70人

5 式 $0 \times 4 = 0$ $3 \times 5 = 15$
 $6 \times 0 = 0$ $10 \times 3 = 30$
 $0 + 15 + 0 + 30 = 45$ 答え 45点

4 | 列の人数 \times 列の数 のかけ算で全部の人数がもとめられます。

5 0点のところに4こ入っても、
 $0 \times 4 = 0 \rightarrow$ とく点は0点です。
 6点のところが0このときは、
 $6 \times 0 = 0 \rightarrow$ とく点は0点です。

おうちのかたへ 「とく点が入らないときはどんなとき?」と問いかけて、0のかけ算の答えが0になることを実感させるとよいですね。

しあげの5分レッスン まちがえた問題はもう1回やってみよう。

2 時こくと時間

びっぴり1 **じゃんび** 8 ページ

1 40、午前9時10分

2 (1) | |
 (2) 60、50、50

びっぴり2 **練習** 9 ページ

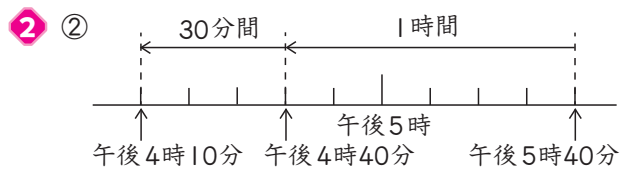
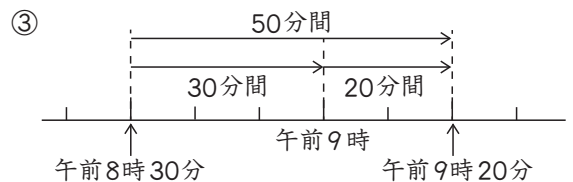
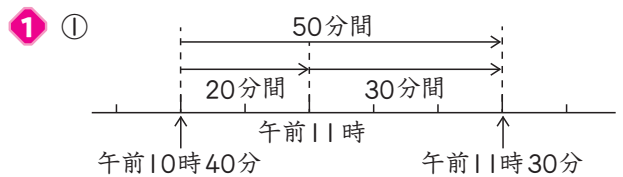
1 ① 午前11時30分 ② 午後5時40分
 ③ 50分間 ④ 1時間30分

2 ① 午前10時40分 ② 午後4時10分

3 式 $11時30分 - 8時50分 = 2時間40分$
 答え 2時間40分

4 式 $1時30分 + 4時間40分 = 6時10分$
 答え 午後6時10分

てびき



3 「分」からじゅんに計算をします。
 「分」は「時」から1時間くり下げて、
 $(60 + 30) - 50 = 40$ (分)

$$\begin{array}{r} 10 \quad 60 \\ \cancel{11} \text{時} 30 \text{分} \\ - 8 \quad 50 \\ \hline 2 \text{時} 40 \text{分} \end{array}$$

「時」の計算は、1時間くり下げたので、
 $10 - 8 = 2$ (時間)
 となります。

4 「分」の計算の70分は、
 $70 = 60 + 10$ で、「時」に1時間
 くり上げます。

$$\begin{array}{r} 1 \text{時} 30 \text{分} \\ + 4 \quad 40 \\ \hline 1 \quad 70 \\ \hline 6 \text{時} 10 \text{分} \end{array}$$

しあげの5分レッスン 数の線をまちがえた人は、時計の図をかいて考えてみよう。

- 1 (1)40、100
 (2)①60 ②1 ③1 ④20
- 2 83、<、い

- 1 ①120 ②90 ③1、10 ④4
- 2 ①かいとさん
 ②そうたさん
 ③式 $110 \text{ 秒} - 1 \text{ 分 } 38 \text{ 秒} = 12 \text{ 秒}$
 答え かいとさんが12秒長い。
 ④式 $110 \text{ 秒} + 1 \text{ 分 } 38 \text{ 秒} + 1 \text{ 分 } 45 \text{ 秒}$
 $= 5 \text{ 分 } 13 \text{ 秒}$
 答え 5分13秒

しあげの5分レッスン 「時」と「分」のかんけい、「分」と「秒」のかんけいを、もう1回たしかめておこう。

- 1 ①1分=60秒です。60秒+60秒=120秒
 ②60秒+30秒=90秒
 ③70秒=60秒+10秒だから、1分10秒。
 ④240秒=60秒+60秒+60秒+60秒
 =4分
- 2 ①②秒にそろえてくらべます。
 そうたさん…1分38秒=98秒
 ゆうきさん…1分45秒=105秒
 長いじゅんに、110秒→105秒→98秒だから、
 かいとさん→ゆうきさん→そうたさん
- ③ $110 \text{ 秒} - 98 \text{ 秒} = 12 \text{ 秒}$
 ④ $110 \text{ 秒} + 98 \text{ 秒} + 105 \text{ 秒} = 313 \text{ 秒}$
 $313 \text{ 秒} = 5 \text{ 分 } 13 \text{ 秒}$
 「時」「分」の計算と同じように筆算ですることもできます。
 $110 \text{ 秒} = 1 \text{ 分 } 50 \text{ 秒}$ だから、
- | | |
|-------|-------|
| 1分50秒 | 3分28秒 |
| +1 38 | +1 45 |
| 1 88 | 1 73 |
| 3分28秒 | 5分13秒 |

- 1 ①午前9時20分 ②午後4時5分
- 2 ①1時間30分 ②3時間10分
- 3 ①午前9時15分 ②午後2時45分
- 4 ①60 ②85 ③1、40 ④2、30
- 5 え→あ→う→い

- 1 ①
$$\begin{array}{r} 8 \text{ 時 } 40 \text{ 分} \\ + \quad 40 \\ \hline 1 \quad 80 \\ 9 \text{ 時 } 20 \text{ 分} \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 2 \text{ 時 } 55 \text{ 分} \\ +1 \quad 10 \\ \hline 1 \quad 65 \\ 4 \text{ 時 } 5 \text{ 分} \end{array}$$
- 2 ①
$$\begin{array}{r} 7 \quad 60 \\ 8 \text{ 時 } 20 \text{ 分} \\ -6 \quad 50 \\ \hline 1 \text{ 時 } 30 \text{ 分} \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 6 \text{ 時 } 25 \text{ 分} \\ -3 \quad 15 \\ \hline 3 \text{ 時 } 10 \text{ 分} \end{array}$$
- 3 ①
$$\begin{array}{r} 9 \quad 60 \\ 10 \text{ 時 } 10 \text{ 分} \\ - \quad 55 \\ \hline 9 \text{ 時 } 15 \text{ 分} \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 3 \quad 60 \\ 4 \text{ 時 } 25 \text{ 分} \\ -1 \quad 40 \\ \hline 2 \text{ 時 } 45 \text{ 分} \end{array}$$
- 4 ②1分25秒=60秒+25秒=85秒
 ③100秒=60秒+40秒=1分40秒
 ④150秒=60秒+60秒+30秒
 =2分30秒
- 5 秒にそろえると、い…95秒、え…120秒

- 6 式 1時間50分+1時間40分
=3時間30分
答え 3時間30分
- 7 式 9時20分-45分=8時35分
答え 午前8時35分
- 8 式 1時45分+6時間25分=8時10分
答え 午後8時10分

- 6
$$\begin{array}{r} 1\text{時}50\text{分} \\ +1\text{時}40\text{分} \\ \hline 1\text{時}90\text{分} \\ 3\text{時}30\text{分} \end{array}$$
- 7
$$\begin{array}{r} 8\text{時}60\text{分} \\ -45\text{分} \\ \hline 8\text{時}15\text{分} \end{array}$$
- 8
$$\begin{array}{r} 1\text{時}45\text{分} \\ +6\text{時}25\text{分} \\ \hline 1\text{時}70\text{分} \\ 8\text{時}10\text{分} \end{array}$$

おうちのかなへ 身近な生活の中でも時間の問題をつくり、考えさせてみるとよいでしょう。

しあげの5分レッスン 時間のくり上がり、くり下がりをもう1回かくにんしておこう。

3 わり算

びつたり1 じゃんび 14ページ

- 1 (1)4 (2)①4 (2)12 (3)4 (4)4
2 (1)6、2 (2)8、7

びつたり2 練習 15ページ

- 1 ①2のだん 答え 5 ②6のだん 答え 5
③3のだん 答え 8 ④9のだん 答え 2
⑤3のだん 答え 6 ⑥5のだん 答え 5
⑦8のだん 答え 6 ⑧7のだん 答え 9
⑨9のだん 答え 9

- 2 $18 \div 6 = 3$ 答え 3こ

- 3 (れい)牛にゆうが30 dLあります。5このコップに同じりょうずつ分けると、コップ1こ分は何 dL になりますか。

- 1 ① $2 \times 5 = 10$ で、答えは5です。
② $6 \times 5 = 30$ で、答えは5です。
③ $3 \times 8 = 24$ で、答えは8です。
④ $9 \times 2 = 18$ で、答えは2です。
⑤ $3 \times 6 = 18$ で、答えは6です。
⑥ $5 \times 5 = 25$ で、答えは5です。
⑦ $8 \times 6 = 48$ で、答えは6です。
⑧ $7 \times 9 = 63$ で、答えは9です。
⑨ $9 \times 9 = 81$ で、答えは9です。

- 2 1人分の数は、
 $\frac{\text{全部の数}}{\text{何人分}} = \text{1人分の数}$
でもとめられます。

- 3 わり算は、同じ数ずつに分けるときに使うから、「同じりょうずつ」「同じかさずつ」のことは入れましょう。

しあげの5分レッスン わり算の答えをまちがえたら、 $\bigcirc \div \square$ の \square のだんの九九を思い出そう。

びつたり1 じゃんび 16ページ

- 1 3、5、5
2 (1)4、3、3
(2)4、3、3

- ① 式 $42 \div 6 = 7$ 答え 7人
- ② 式 $18 \div 2 = 9$ 答え 9こ
- ③ ①ア20 ①5 ②イ1人分
②ア20 ①5 ②何人

おうちのがたへ 1つ分の数やいくつ分を求めるときに使う計算がわり算であることを確認します。そして、1つ分の数やいくつ分を求める問題はどのようなものを理解させましょう。

あげの5分レッスン わり算の式の意味を、もう一度かくにんしておこう。

- ① 式は、全部の数 ÷ 1つ分の数 = いくつ分のわり算になります。
 $6 \times 7 = 42$ で、答えは7人です。
- ② 式は、全部の数 ÷ 1つ分の数 = いくつ分のわり算になります。
 $2 \times 9 = 18$ で、答えは9こです。
- ③ わり算には「1つ分」をもとめる問題と「いくつ分」をもとめる問題の2通りあります。意味のちがいに気をつけましょう。

- ① (1) 1、1 (2) 5、5 (3) 0、0
- ② ①4 ②4 ③12 ④12 ⑤12

- ① ①1 ②1 ③7 ④0 ⑤4 ⑥0
- ② (1) 6、6、20
(2) ①10 ②20 ③30
- ③ (1) ①10 ②10 ③11 ④11
(2) ①14 ②31 ③11

あげの5分レッスン かけ算とわり算のかんけいを、もう1回たしかめておこう。

- ① ①②わられる数とわる数が同じとき、答えは1です。
③⑤わる数が1のとき、答えはわられる数と同じです。
④⑥0をどんな数でわっても、答えは0です。
- ② わられる数を10のいくつ分と考え、九九を使って答えがもとめられます。
(2) ① $70 \div 7 = 10$ ② $80 \div 4 = 20$
↓ ↑ ↓ ↑
10が7こ $\div 7 = 1$ こ 10が8こ $\div 4 = 2$ こ
- ③ わられる数を2つに分けて考えましょう。
(2) ①28を20と8に分けて、
 $20 \div 2 = 10$ $8 \div 2 = 4$
 $10 + 4 = 14$ だから、 $28 \div 2 = 14$
②93を90と3に分けて、
 $90 \div 3 = 30$ $3 \div 3 = 1$
 $30 + 1 = 31$ だから、 $93 \div 3 = 31$
③44を40と4に分けて、
 $40 \div 4 = 10$ $4 \div 4 = 1$
 $10 + 1 = 11$ だから、 $44 \div 4 = 11$

おうちのがたへ わり算も、かけ算と同じように、わられる数を2つに分ければ、わられる数が大きくなっても答えが求められることを理解させましょう。

1 ①6 ②6 ③7 ④4 ⑤7 ⑥4

2 ①1 ②2 ③0 ④10 ⑤13 ⑥21

3 式 $27 \div 9 = 3$ 答え 3本

4 式 $32 \div 8 = 4$ 答え 4人

5 式 $66 \div 6 = 11$ 答え 11ケース

6 ①24、6、1人分 答え 4まい
②24、6、何人 答え 4人

1 答えは、わる数のだんの九九で見つけます。

① $4 \times \boxed{6} = 24$ で、答えは6です。

② $7 \times \boxed{6} = 42$ で、答えは6です。

③ $6 \times \boxed{7} = 42$ で、答えは7です。

④ $9 \times \boxed{4} = 36$ で、答えは4です。

⑤ $8 \times \boxed{7} = 56$ で、答えは7です。

⑥ $4 \times \boxed{4} = 16$ で、答えは4です。

2 ① わられる数とわる数が同じときの答えは1です。

$$\bullet \div \bullet = 1$$

② わる数が1のときの答えは、わられる数と同じです。

$$\bullet \div 1 = \bullet$$

③ 0をどんな数でわっても、答えは0です。

$$0 \div \bullet = 0$$

④ $90 \div 9 = 10$

$$\begin{array}{ccc} & \downarrow & \uparrow \\ & 10 & 9 \\ & \text{が} & \text{こ} \\ & 9 & \div 9 = 1 \text{こ} \end{array}$$

⑤ 39を30と9に分けて、

$$30 \div 3 = 10 \quad 9 \div 3 = 3$$

$$10 + 3 = 13 \text{ だから、} 39 \div 3 = 13$$

⑥ 84を80と4に分けて、

$$80 \div 4 = 20 \quad 4 \div 4 = 1$$

$$20 + 1 = 21 \text{ だから、} 84 \div 4 = 21$$

3 全部の数 \div いくつ分 = 1つ分の数のわり算です。

4 全部の数 \div 1つ分の数 = いくつ分のわり算です。

5 66を60と6に分けて、

$$60 \div 6 = 10 \quad 6 \div 6 = 1$$

$$10 + 1 = 11 \text{ だから、} 66 \div 6 = 11 \text{ (ケース)}$$

6 わり算の意味を考える問題です。

① 「1つ分の数」をもとめる問題です。

② 「いくつ分」をもとめる問題です。

おうちのかたへ ブロックを使ったり、図に表すと意味のちがいがわかりやすくなります。

しあげの5分レッスン まちがえた計算をもう1回やってみよう。

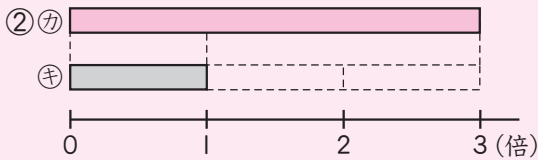
倍について考えよう

22~23 ページ

てびき

★ 5、3、15 答え 15 cm

★ ①式 $12 \div 4 = 3$ 答え 3本分



③式 $12 \div 2 = 6$ 答え 6倍

★ 10、5、2 答え 2倍

★ ①くらべられる長さ…24 cm
もとにする長さ…8 cm
②式 $24 \div 8 = 3$ 答え 3倍

★ 3倍は、3こ分のことです。倍にあたる数は、かけ算でもとめます。

$$5 \times 3 = 15 \text{ (cm)}$$

↑ ↑ ↑
①の長さ 倍 ③の長さ

★ ①いくつ分をもとめる計算は、わり算です。

$$12 \div 4 = 3$$

↑ ↑ ↑
全部の長さ 1つ分 いくつ分

②12 cmは4 cmの3つ分だから、3倍です。
③12 cmが2 cmのいくつ分になるかをもとめます。

★ くらべられる長さは10 cm、もとにする長さは5 cmです。

★ ②くらべられる長さ(24 cm)が、もとにする長さ(8 cm)の何倍になるかは、わり算でもとめます。

おうちのかなへ 「割合」の基本です。「もとにする長さを1と見る」という考え方をおさえましょう。

しあげの5分レッスン くらべられる長さ、もとにする長さ、倍のかんけいを、もう一度たしかめよう。

4 たし算とひき算

びっぴり1 じゃんび 24 ページ

1 (1)13、1、539 (2)13、1、853

びっぴり2 練習 25 ページ

1 ①388 ②477 ③728 ④964
⑤637 ⑥840 ⑦965 ⑧902
⑨813

てびき

1 一の位からじゅんに計算します。くり上がりに注意しましょう。

2

①	4	5	0
+	2	7	0
	7	2	0

②	4	9	6
+		3	1
	5	2	7

③	3	4	9
+	2	8	5
	6	3	4

④	1	7	4
+	6	2	6
	8	0	0

⑤	4	0	8
+		9	2
	5	0	0

⑥	8	5	9
+	3	1	2
	1	1	1

⑦	7	6	4	
+	2	5	9	
	1	0	2	3

⑧	6	9	7	
+	5	4	3	
	1	2	4	0

2 ひっさん 筆算は、たてに位をそろえて書きます。

⑤

$$\begin{array}{r} 408 \\ + 92 \\ \hline 500 \end{array}$$

4+1=5 0+9+1=10 8+2=10

⑦

$$\begin{array}{r} 764 \\ + 259 \\ \hline 1023 \end{array}$$

7+2+1=10 6+5+1=12 4+9=13

あげの5分レッスン くり上げた1を小さく書いて、わすれないようにしましょう。

びっぴり1 じゃんび 26 ページ

- 1 (1)①5 (2)① (3)①① (4)4 (5)3 (6)①45
 (2)①10 (2)9 (3)① (4)①7①

びっぴり2 練習 27 ページ

- 1 ①①23 (2)238 (3)①4 (4)①88
 ⑤449 (6)346 (7)254 (8)357
 ⑨①84

2

①	4	6	3
-	2	7	6
	1	8	7

②	3	1	5
-		3	6
	2	7	9

③	7	0	2
-	6	6	5
		3	7

④	4	0	4
-	3	0	8
		9	6

⑤	6	0	0
-		2	9
	5	7	1

⑥	1	0	0	0
-		2	2	6
		7	7	4

⑦	1	0	6	3
-		7	5	4
		3	0	9

⑧	1	3	1	2
-		4	5	8
		8	5	4

てびき

1 一の位からじゅんに計算します。
 くり下がりに注意しましょう。

⑤

$$\begin{array}{r} 710 \\ 825 \\ - 376 \\ \hline 449 \end{array}$$

1くり下げたから、7-3=4 1くり下げたから、11-7=4 15-6=9

⑧

$$\begin{array}{r} 600 \\ 706 \\ - 349 \\ \hline 357 \end{array}$$

1くり下げたから、6-3=3 1くり下げたから、9-4=5 16-9=7

2 ⑥千の位からじゅんにくり下げます。

$$\begin{array}{r} 990 \\ 1000 \\ - 226 \\ \hline 774 \end{array}$$

9-2=7 9-2=7 10-6=4

あげの5分レッスン くり下げたら、線で消して、くり下がったあとの数を小さく書いておこう。まちがいが少なくなるよ。

びっぴり1 じゃんび 28 ページ

- 1 (1)①① (2)① (3)① (4)①0000
 (2)①①5 (2)9 (3)9 (4)3 (5)2378

- ① ①6043 ②6160 ③8352
④4010 ⑤10000 ⑥3848
⑦4039 ⑧779 ⑨2098

② ①

	3	9	9	9
+	4	8	8	9
	8	8	8	8

②

	6	9	7	3
+		5	9	7
	7	5	7	0

③

	5	5	0	6
+	4	4	9	4
	1	0	0	0

④

	4	0	0	1
-	1	8	7	2
	2	1	2	9

⑤

	2	4	1	3
-		4	4	4
	1	9	6	9

⑥

	1	0	0	0	0
-		3	0	0	3
		6	9	9	7

- ① 数が大きくなっても、筆算のしかたは同じです。
①③④くり上がりが3回あります。

③

$$\begin{array}{r} 6784 \\ + 1568 \\ \hline 8352 \end{array}$$

$4+8=12$
 $8+6+1=15$
 $7+5+1=13$
 $6+1+1=8$

- ⑧くり下がりが3回あります。

$$\begin{array}{r} 5010 \\ - 5341 \\ \hline 779 \end{array}$$

$10-1=9$
 $11-4=7$
 $10-3=7$
 $5-5=0$

- ② 筆算の書き方に注意して計算しましょう。

🕒 5分レッスン 数が大きくなると、くり上がりやくり下がりが多くなることもあるよ。くり上がりやくり下がりに気をつけて計算しよう。

- ① (1)2、228、828 (2)1、200、201
② 100、427

- ① ①3、227、427 ②969 ③406

- ① たし算では、たされる数をふやした数だけ、たす数をへらすと、答えが同じになります。
また、たされる数をへらした数だけ、たす数をふやしても、答えは同じになります。

②599+370 ③208+198

$$\begin{array}{r} +1 \downarrow \quad \downarrow -1 \\ 600+369=969 \end{array} \quad \begin{array}{r} -2 \downarrow \quad \downarrow +2 \\ 206+200=406 \end{array}$$

- ② ①1、601、301 ②204 ③204

- ② ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたすと、答えが同じになります。

②402-198 ③300-96

$$\begin{array}{r} +2 \downarrow \quad \downarrow +2 \\ 404-200=204 \end{array} \quad \begin{array}{r} +4 \downarrow \quad \downarrow +4 \\ 304-100=204 \end{array}$$

3 ①838 ②618

4 ①ア6 ①6 ウ15 エ15 オ75
②5、5、28

3 交かんのきまり、けつ合のきまりを使^{つか}ってくふうします。

$$\textcircled{1} 738 + 75 + 25 = 738 + \frac{75 + 25}{100} = 838$$

$$\textcircled{2} 37 + 518 + 63 = \frac{37 + 63}{100} + 518 = 618$$

おうちのかたへ 計算のきまりを使うことによって、計算が簡単になるよさに気づかせましょう。興味がわいてくれば、自分でいろいろ工夫できるようになります。

あげの5分レッスン どんな計算のきまりがあったか、ふく^{しゅう}習しておこう。

ぴったり3 たしかめのテスト 32~33 ページ

てびき

1 ①378 ②427 ③1005 ④445
⑤381 ⑥807

2 ① $\begin{array}{r} 283 \\ +164 \\ \hline 447 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 586 \\ +415 \\ \hline 1001 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 703 \\ -506 \\ \hline 197 \end{array}$
④ $\begin{array}{r} 800 \\ -248 \\ \hline 552 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 2196 \\ +3758 \\ \hline 5954 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 4000 \\ -1567 \\ \hline 2433 \end{array}$

3 ①475 ②303

4 ①

	3	9	7
+	1	1	5
	5	1	2

 ②

	6	2	4
-	1	9	8
	4	2	6

1 一の位からじゅんに計算します。
くり上がり、くり下がりに注意しましょう。

③ $\begin{array}{r} 397 \\ +608 \\ \hline 1005 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 710 \\ 806 \\ -425 \\ \hline 381 \end{array}$

2 位をそろえて書きます。
くり上がり、くり下がりに注意します。

③ $\begin{array}{r} 690 \\ 703 \\ -506 \\ \hline 197 \end{array}$ ④ $\begin{array}{r} 790 \\ 800 \\ -248 \\ \hline 552 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 2196 \\ +3758 \\ \hline 5954 \end{array}$

3 ①けつ合のきまりを使います。
 $375 + 19 + 81 = 375 + \frac{19 + 81}{100} = 475$

②ひく数を、ぴったりの数になるようにくふうします。

$$\begin{array}{r} 400 - 97 \\ +3 \downarrow \quad \downarrow +3 \\ 403 - 100 = 303 \end{array}$$

4 ①十の位の計算で、一の位でくり上げた1をわすれています。
②一の位と十の位の計算で、下の数から上の数をひいています。
ひき算の筆算は、上の数から下の数をひきます。
ひけないときは、上の位からくり下げます。

- 5 ①ア6 ②イ7 ③ウ6
④カ7 ⑤キ8 ⑥ク2

- 6 ①式 $1650 - 965 = 685$ 答え 685円
②式 $1650 + 965 = 2615$ 答え 2615円

7 1023円

おうちのかたへ 5のような問題を虫くい算とい
います。たし算、ひき算の計算力の、よいトレーニ
ングになります。いろいろな問題をパズル感覚で解くよ
うにするとよいでしょう。

5 一の位から考えていきます。

①一の位... $2 + \text{①} = 9$

2と7で9だから、①は7。

十の位... 答えの3は7より小さい
から、 $\text{ア} + 7 = 13$ です。

6と7で13だから、アは6。

百の位... |くり上げたから、

ウは、 $3 + 2 + 1 = 6$

②一の位... $\text{カ} - 5 = 2$

7から5ひくと2だから、カは7。

十の位... 答えの6は4より大きい
から、百の位から|くり下げて、

$14 - \text{キ} = 6$ より、キ=8

百の位... |くり下げたから、 $\text{ク} = 6 - 4 = 2$

6 筆算は、次のようになります。

$$\begin{array}{r} \text{①} \quad \begin{array}{r} 10 \\ 5 \quad 4 \quad 10 \\ 1650 \\ - 965 \\ \hline 685 \end{array} \end{array}$$

$$\text{②} \quad \begin{array}{r} 1650 \\ + 965 \\ \hline 2615 \end{array}$$

7 623円の一の位、十の位の23円を先にはらう
と、あと600円はらえばよいです。百円玉は4
こで400円しかないから、千円さつを1まい、
1000円をはらいます。おつりは、
 $1000 - 600 = 400$ で、400円になり、百円玉
4このおつりがもらえます。
いいかえると、 $23 + 1000 = 1023$ で、1023
円出すと、おつりは400円になり、百円玉4こ
のおつりがもらえます。

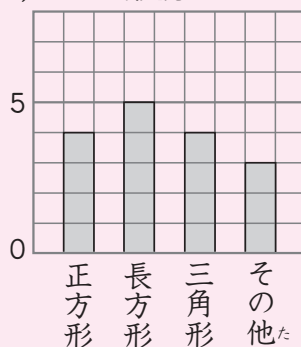
5 ひょう 表とグラフ

びっぴり11 じゃんび

34 ページ

- 1 ①5 ②5 ③4 ④下
⑤3 ⑥たて ⑦表題 ⑧長方形
⑨三角形

(こ) 形調べ



ぴったり2 練習

35 ページ

てびき

- 1 ①ア6 ①20 ウ正F ⑤3 ⑧38
 ②乗用車
 2 ①2人 ②12人 ③サッカー ④8人
 ⑤40人

- 1 ①T→1、T→2、F→3、F→4、正→5
 ②6+20+9+3=38(台)
 2 ①10人を5目もり分で表しているから、
 1目もり分は、 $10 \div 5 = 2$ (人)
 ②10人と1目もり分(2人)で12人です。
 ④水泳がすきな人は4人。 $12 - 4 = 8$ (人)
 ぼうの長さが4目もり分ちがうことから、
 $2 \times 4 = 8$ (人)ともとてもよいです。
 ⑤ $14 + 12 + 8 + 4 + 2 = 40$ (人)

しあげの5分レッスン ぼうグラフをかくときや、ぼうグラフを読むときには、グラフの1目もりの大きさに気をつけよう。

ぴったり1 じゃんび

36 ページ

- 1 ①30 ②22 ③15 ④9 ⑤76 ⑥30 ⑦遊園地

ぴったり2 練習

37 ページ

てびき

- 1 ①ア78 ①94 ウ93 ⑤99 ⑧89
 カ39 キ20 ク18 ケ265
 ②4月にねんごをした人数
 ③6月に打ち身をした人数
 ④4月から6月までの間で、けがをした人数の合計
 ⑤すりきず ⑥5月

- 1 ①ア... $32 + 30 + 8 + 3 + 5 = 78$
 ①... $37 + 32 + 11 + 5 + 9 = 94$
 ウ... $30 + 27 + 20 + 12 + 4 = 93$
 ⑤... $32 + 37 + 30 = 99$
 ⑧... $30 + 32 + 27 = 89$
 カ... $8 + 11 + 20 = 39$
 キ... $3 + 5 + 12 = 20$
 ク... $5 + 9 + 4 = 18$
 ケは、ア+①+ウ
 または、⑤+⑧+カ+キ+ク
 のどちらでもとてもかまいません。
 ⑤⑤、⑧、カ、キの人数をくらべます。
 いちばん多いのは⑤だから、すりきずです。
 ⑥ア、①、ウの人数をくらべます。
 いちばん多いのは①だから、5月です。

しあげの5分レッスン 表の数字が何を表しているのか、もう一度かくにんしておこう。

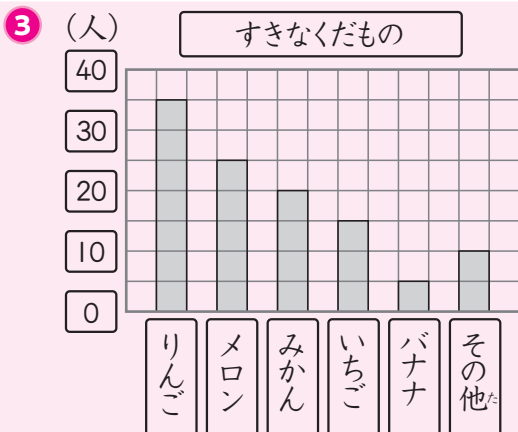
ぴったり3 たしかめのテスト

38~39 ページ

てびき

- 1 ①ア16 ①13 ウ9 ⑤2
 ②40人
 2 ①2m ②12m ③6m

- 1 ②表の合計にあてはまる数です。
 ア+①+ウ+⑤でもとめます。
 $16 + 13 + 9 + 2 = 40$ (人)
 2 ①10mを5つに分けているので、1目もり分は
 $10 \div 5 = 2$ (m)
 ②10mと1目もり分(2m)で12mです。
 ③こはるさんは14m、ももかさんは8mです。
 $14 - 8 = 6$ (m)
 ぼうの長さが3目もり分ちがうことから、
 $2 \times 3 = 6$ (m)ともとてもよいです。



- 4 ①ア | イ | 18 | ウ | 29 | エ | 1 | オ | 9
カ | 25 | キ | 21 | ク | 83
- ②でん記
③5年生

- 3 いちばん多い人数(りんごの35人)がかかるように、1目もり分を5人とします。
- りんごは、 $35 \div 5 = 7$ (目もり)
メロンは、 $25 \div 5 = 5$ (目もり)
みかんは、 $20 \div 5 = 4$ (目もり)
いちごは、 $15 \div 5 = 3$ (目もり)
バナナは、 $5 \div 5 = 1$ (目もり)
その他は、 $10 \div 5 = 2$ (目もり)

- 4 ①アは、3年生の合計から、でん記、物語、^{ものがたり}図かんの人数をひいてもとめられます。
 $8 - 2 - 4 - 1 = 1$
- ①は、4年生の合計だから、
 $5 + 8 + 4 + 1 = 18$
- ②は、5年生の合計だから、
 $10 + 3 + 7 + 9 = 29$
- ③は、物語の合計から、3年生、4年生、5年生の人数をひいてもとめられます。
 $16 - 4 - 8 - 3 = 1$
- ④は、図かんの合計から、3年生、4年生、5年生の人数をひいてもとめられます。
 $21 - 1 - 4 - 7 = 9$
- ⑤は、でん記の合計だから、
 $2 + 5 + 10 + 8 = 25$
- ⑥は、その他の合計です。ア = 1 だから、
 $1 + 1 + 9 + 10 = 21$
- ⑦は^{ぜんたい}全体の合計です。
 $8 + ① + ② + 28$ または、 $カ + 16 + 21 + ⑥$ でもとめられます。
- ⑧表の右はしの「合計」の^{れつ}列の数をくらべます。
いちばん多いのはカ(25)だから、でん記です。
- ⑨表のいちばん下の「合計」の^{だん}だんの数をくらべます。いちばん多いのはウ(29)だから5年生です。

しあげの5分レッスン 表に数をあてはめるときは、たての合計と横の合計に気をつけて、たしかめをしよう。

6 長さ

ぴったり1 **じゃんび** 40 ページ

- 1 ①10 ②4 ③30 ④4 ⑤30
2 ①1260 ②1 ③260 ④900 ⑤360

- 1 ㊦ 2m 10 cm ㊩ 2m 45 cm
 ㊧ 3m 2cm
- 2 ①ウ ②ア(イ) ③ウ
- 3 ①3000 ②5800
 ③4、100 ④2、580

- 4 きより… 1 km 800 m
 道のり… 2 km 320 m

🎯 あげの5分レッスン kmとmのかんけいをもう
 1回かくにんしよう。

- 1 まきじゃくの小さい | 目もり分は | cm を表しま
 ず。
- 2 まるいものや | m より長いものをはかるときは、
 まきじゃくがべんりです。
- 3 ① 1 km = 1000 m だから、3 km = 3000 m
 ② 5 km = 5000 m だから、

$$5 \text{ km } 800 \text{ m} = 5000 \text{ m} + 800 \text{ m} \\ = 5800 \text{ m}$$

③	$\begin{array}{r} \text{km} \quad \text{m} \\ 1600 \\ + 2500 \\ \hline 4100 \end{array}$	④	$\begin{array}{r} \text{km} \quad \text{m} \\ 4210 \\ - 1630 \\ \hline 2580 \end{array}$
---	--	---	--

- 4 きよりは、まっすぐにはかった長さで、道のりは、
 道にそってはかった長さです。
 きよりは、1800 m = 1 km 800 m
 道のりは、980 m + 1 km 340 m
 = 2 km 320 m

筆算は右のようになります。

	$\begin{array}{r} \text{km} \quad \text{m} \\ 980 \\ + 1340 \\ \hline 2320 \end{array}$
--	---

- 1 ①○ ②× ③× ④○
- 2 ①mm ②km ③cm ④m
- 3 ㊦ 8m 25 cm ㊩ 8m 54 cm
- 
- 4 3 km 80 m → 3008 m → 3 km
- 5 ① 4 km 220 m ② 780 m

- 1 ①②まきじゃくによって、0のいちがちがうので、
 注意します。
 ③④はかる物にまっすぐあてて使います。
- 2 1 mm、1 cm、1 m、1 km のだいたいの長さをお
 ぼえましょう。また、それぞれのたんいのかん
 けいもかくにんしておきましょう。
- 3 まきじゃくの小さい | 目もり分は 1 cm です。
 ㊦ 8 m と 25 cm で 8 m 25 cm
 ㊩ 8 m と 54 cm で 8 m 54 cm
 ㊧ は 8 m より 10 cm 短い長さだから、↓は 8 m
 の目もりより 10 cm 左になります。
- 4 m にそろえてくらべます。
 3 km = 3000 m 3 km 80 m = 3080 m
 3080 m → 3008 m → 3000 m だから、
 3 km 80 m → 3008 m → 3 km

①	$\begin{array}{r} \text{km} \quad \text{m} \\ 2370 \\ + 1850 \\ \hline 4220 \end{array}$	②	$\begin{array}{r} \text{km} \quad \text{m} \\ 3140 \\ - 2360 \\ \hline 780 \end{array}$
---	--	---	---

- 6 ①式 $760\text{ m} + 690\text{ m} = 1\text{ km } 450\text{ m}$
 答え $1\text{ km } 450\text{ m}$
 ②式 $1\text{ km } 450\text{ m} - 380\text{ m} = 1\text{ km } 70\text{ m}$
 答え $1\text{ km } 70\text{ m}$

7 南町を通る行き方が 600 m 長い。

6 たんいをそろえて計算します。

おうちのかたへ 家の近くの地図を使って道のりや距離を求めさせてみましょう。身近なものを使うことで、長さのことを理解してくれたらよいですね。

- 7 北町を通る行き方は、
 $900\text{ m} + 3\text{ km } 500\text{ m} = 4\text{ km } 400\text{ m}$
 南町を通る行き方は、
 $1\text{ km } 200\text{ m} + 3\text{ km } 800\text{ m} = 5\text{ km}$
 南町を通る方が、
 $5\text{ km} - 4\text{ km } 400\text{ m} = 600\text{ m}$ 長いです。

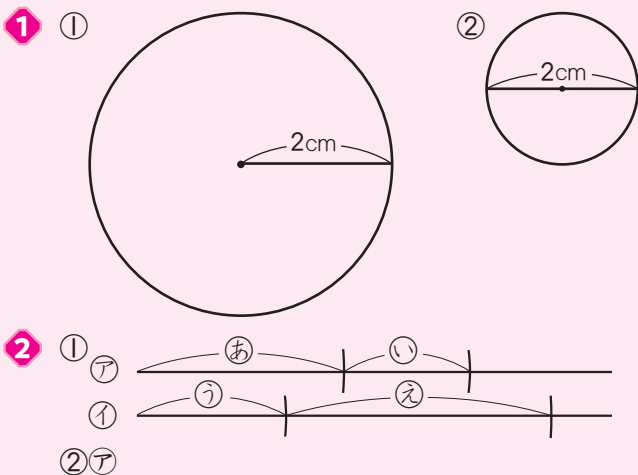
あげの5分レッスン 長さの計算のしかたをもう1回かくにんしておこう。

7 円と球 きゆう

ぴったり1 **じゃんび** 44 ページ

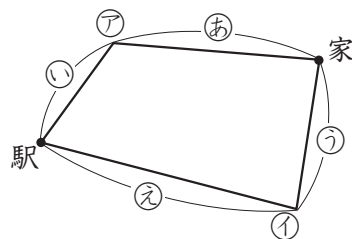
- 1 ①4 ②2 ③2 ④8
 2 ①10 ②5 ③5

ぴったり2 **練習** 45 ページ



てびき

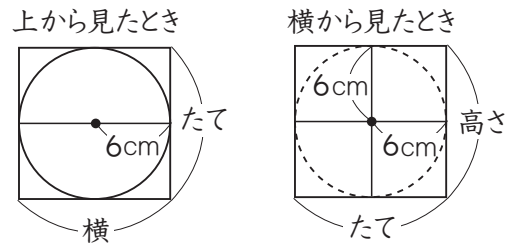
- 1 ①コンパスを 2 cm に開いて円をかきます。
 ②半径は、 $2 \div 2 = 1\text{ (cm)}$ です。
 コンパスを 1 cm に開いて円をかきます。
- 2 コンパスは、円をかくだけでなく、直線の長さをべつの場所にうつしてかくこともできます。
 ①コンパスを使って、次のあ～えの長さを直線にうつしとります。
 アの道は、あといの長さの合計、
 イの道は、うとえの長さの合計になります。



おうちのかたへ コンパスは、円をかくだけでなく、長さをうつしたり、区切ったりして長さを比べるときにも使います。コンパスのいろいろな使い方をしっかり覚えましょう。

3 ㉞ 12 cm ㉟ 12 cm ㊱ 12 cm

3 ボールは、どこから見ても円に見えます。だから、箱を上から見ても、横から見ても、次のように見えます。



たても横も高さも、その長さはボールの直径と等しくなるから、 $6 \times 2 = 12$ (cm)

おうちのかなへ ぴったり入るということは、何と何の長さが等しくなるかを確認させましょう。球を2つの平らな面ではさんだときの長さが、球の直径になることがわかるといいですね。

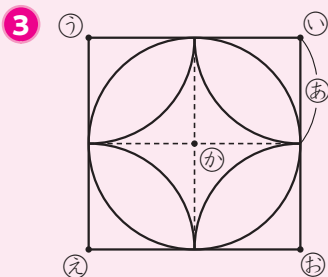
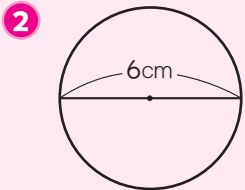
しあげの5分レッスン 円と球のしくみをもう一度たしかめておこう。

ぴったりに3 たしがげのテスト

46~47 ページ

てびき

1 ア中心 ㉠半径 ㉡直径



4 ㉠ → ㉡ → ア

5 ①㉤の点 ②4つ

2 半径は、 $6 \div 2 = 3$ (cm)です。
コンパスを3cmに開いて円をかきます。

3 ㉞の長さを半径とする円を、㉟~㉡の点を中心にそれぞれかきます。

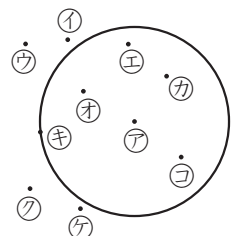
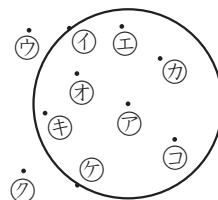
4 コンパスで、直線の長さをほかの直線にうつして、長さをくらべましょう。

5 ①アを中心にして、ア㉠の長さを半径とする円をかきます。円と重なった㉡が、同じ長さのところにある点です。

②アを中心にして、ア㉡の長さを半径とする円をかきます。円の外にある㉠、㉢、㉣、㉤が、㉡よりもはなれた点です。

①の図

②の図

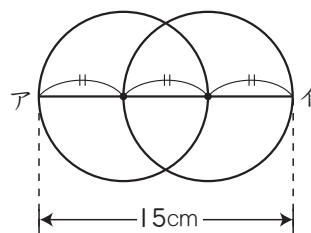


- 6 ①
7 10 cm

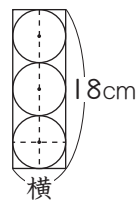
- 8 ①6 cm ②3 cm

🕒あげの5分レッスン 正方形、箱の形、円、球のせいしつを、もう1回かくにんしておこう。

- 6 球をどこで切っても、切り口は円になります。
7 下の図のように、直線アイは半径の3つ分の長さになります。
半径は、 $15 \div 3 = 5$ (cm)だから、
直径は、 $5 \times 2 = 10$ (cm)



- 8 ①箱のたての長さは、ボールの直径の3つ分に当たります。横の長さは直径の1つ分だから、
 $18 \div 3 = 6$ (cm)
② $6 \div 2 = 3$ (cm)



8 あまりのあるわり算

ぴったり1 じゃんび 48 ページ

- 1 ①5 ②5 ③1 ④5 ⑤1
2 ①大き ②5 ③5 ④5 ⑤2 ⑥37

ぴったり2 練習 49 ページ

- 1 ①5あまり1 ②1あまり4
③6あまり3 ④6あまり2
⑤8あまり3 ⑥7あまり4

- 2 まちがっているところ
あまりの4こが人数より多いので、まだ分けられる。

正しい答え

1人分は6こになって、1こあまる

- 3 ①たしかめの式 $6 \times 7 + 3 = 45$

正しい答え 正しい

- ②たしかめの式 $4 \times 8 + 2 = 34$

正しい答え 7あまり2

てびき

- 1 あまりは、わる数より小さくなります。
①2のだんの九九で答えが11より小さく、11にいちばん近いのは、 $2 \times 5 = 10$
 $11 \div 2 = 5$ あまり1
③6のだんの九九で答えが39より小さく、39にいちばん近いのは、 $6 \times 6 = 36$
 $39 \div 6 = 6$ あまり3
⑥8のだんの九九で答えが60より小さく、60にいちばん近いのは、 $8 \times 7 = 56$
 $60 \div 8 = 7$ あまり4
2 4こあまっていれば、まだ1こずつ分けることができます。
 $19 \div 3 = 6$ あまり1だから、1人分は6こになって、あめは1こあまります。
あまりは、わる数より小さくなります。
3 たしかめの式の答えがわられる数になったら、わり算の答えは正しいです。
たしかめの式
わる数 \times 答え + あまり = わられる数

- 4 ①式 $52 \div 7 = 7$ あまり3
 答え 7たばできて、3まいあまる
 ②式 $7 - 3 = 4$ 答え 4まい

おうちのかたへ あまりをどう扱えばよいかを、図などを用いて具体的に説明しましょう。

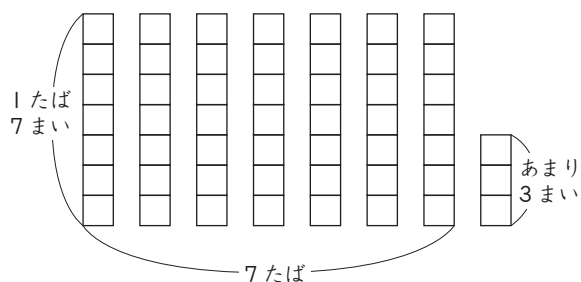
- 5 式 $50 \div 6 = 8$ あまり2 $8 - 2 = 6$
 答え 6こ入りのふくろ…6ふくろ
 7こ入りのふくろ…2ふくろ

はっぴん

1 ①
$$\begin{array}{r} 7 \overline{) 38} \\ \underline{35} \\ 3 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 6 \overline{) 50} \\ \underline{48} \\ 2 \end{array}$$

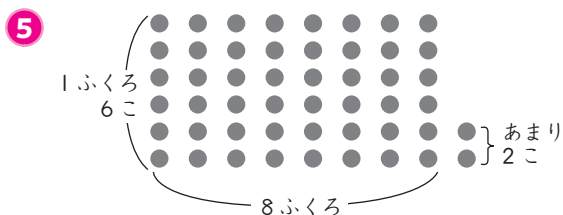
しあげの5分レッスン あまりのあるわり算の答え方を、もう1回かくにんしておこう。

- 4 ②①の答えを図にかいてみましょう。



あまりが7まいになれば、もう1たばできて、8たばになります。

あと、 $7 - 3 = 4$ (まい) あればよいです。



6こ入りのふくろを作ると、 $50 \div 6 = 8$ あまり2だから、8ふくろできて2こあまります。

あまりの2こを1こずつ、6こ入りのふくろに入れると、7こ入りのふくろが2ふくろできます。

- 1 ①5をたてて、7とかけて、38からひきます。
 ②8をたてて、6とかけて、50からひきます。

9 (2けた) × (1けた) の計算

びっぴり1 じゃんび 54ページ

- 1 ①32 ②32 ③64 ④10 ⑤40 ⑥64

びっぴり2 練習 54ページ

- 1 ①30、35、65
 ②ア3 イ3 ウ15 エ50 オ65
 ③65

てびき
 1 かけられる数が2けたのかけ算は、分配のきまりぶんばいを使って、かけられる数を分けて計算することができます。

① $13 = 6 + 7$ 13を6と7に分けています。

② $13 = 3 + 10$ 13を3と10に分けています。

しあげの5分レッスン 分配のきまりをもう1回かくにんしておこう。

- 1 ともさんの考え 4、28、60
 はるさんの考え 6、24、60
 りくさんの考え 10、40、60

- 2 ①66 ②96 ③42 ④95

3 ^{しき}式 $16 \times 5 = 80$

答え 80こ

- 1 かけられる数の15を、いろいろに分けて計算しています。

どのように分けて計算しても、答えは同じです。
 ともさん…15を8と7に分けています。
 はるさん…15を9と6に分けています。
 りくさん…15を5と10に分けています。

- 2 かけられる数が「十いくつ」のときは、「いくつ」と「10」に分けると計算しやすいです。

$$\begin{array}{r} 12 \times 8 \\ \begin{array}{l} 2 \times 8 = 16 \\ 10 \times 8 = 80 \\ \hline \end{array} \\ \text{合わせて } 96 \end{array} \quad 12 \times 8 = 96$$

$$\begin{array}{r} 14 \times 3 \\ \begin{array}{l} 4 \times 3 = 12 \\ 10 \times 3 = 30 \\ \hline \end{array} \\ \text{合わせて } 42 \end{array} \quad 14 \times 3 = 42$$

$$\begin{array}{r} 19 \times 5 \\ \begin{array}{l} 9 \times 5 = 45 \\ 10 \times 5 = 50 \\ \hline \end{array} \\ \text{合わせて } 95 \end{array} \quad 19 \times 5 = 95$$

- 3 16こずつの5つ分だから、式はかけ算になります。

$$\begin{array}{r} 16 \times 5 \\ \begin{array}{l} 6 \times 5 = 30 \\ 10 \times 5 = 50 \\ \hline \end{array} \\ \text{合わせて } 80 \end{array}$$

おうちのかたへ 分配のきまりは、このあとで学習する2けたの数をかけるかけ算でも出てきます。ここでしっかりと学習して、考え方をマスターしておきましょう。

しあげの5分レッスン まちがえた問題は、もう1回やってみよう。

10 1けたをかけるかけ算

- 1 ①9 ②27 ③2700

- 2 ①6 ②3 ③368

- 1 ①60 ②280 ③800 ④2400

- 1 ①10のまとまりが、 $3 \times 2 = 6$ (こ)です。
 ③100のまとまりが、 $2 \times 4 = 8$ (こ)です。
 ④100のまとまりが、 $8 \times 3 = 24$ (こ)です。

- 2 ①26 ②488 ③75 ④84 ⑤438
⑥245

3 ① $\begin{array}{r} 48 \\ \times 7 \\ \hline 336 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 85 \\ \times 6 \\ \hline 510 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 67 \\ \times 9 \\ \hline 603 \end{array}$

4 $\overset{\text{しき}}{\text{式}} 700 \times 6 = 4200$ 答え 4200円

2 くり上がりに気をつけます。

④ $\begin{array}{r} 28 \\ \times 3 \\ \hline 24 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 28 \\ \times 3 \\ \hline 24 \\ 6 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 28 \\ \times 3 \\ \hline 84 \end{array}$

「三八24」 「三ニが6」
一の位は4。 $6+2=8$
2くり上げる。 十の位は8。

⑥ $\begin{array}{r} 35 \\ \times 7 \\ \hline 35 \\ 21 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 35 \\ \times 7 \\ \hline 35 \\ 21 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 35 \\ \times 7 \\ \hline 245 \end{array}$

「七五35」 「七三21」
一の位は5。 $21+3=24$
3くり上げる。 十の位は4。
百の位は2。

3 たてに位をそろえて書きます。

4 100のまとまりが、 $7 \times 6 = 42$ (こ)です。

しあげの5分レッスン ひっさん 筆算でくり上がりが出たら、わすれないように小さく書いておこう。

びっぴり1 じゃんび 58 ページ

- 1 ①3 ②2 ③2365
2 ①240 ②240 ③276

びっぴり2 練習 59 ページ

てびき

- 1 ①396 ②486 ③1528 ④1605
⑤1638 ⑥5742 ⑦1290 ⑧4212
⑨3600

2 ① $\begin{array}{r} 418 \\ \times 3 \\ \hline 1254 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 147 \\ \times 6 \\ \hline 882 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 378 \\ \times 4 \\ \hline 1512 \end{array}$
④ $\begin{array}{r} 777 \\ \times 7 \\ \hline 5439 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 575 \\ \times 8 \\ \hline 4600 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 305 \\ \times 6 \\ \hline 1830 \end{array}$


1 くり上がりの回数が多くなるので、まちがえないようにしましょう。
位ごとの計算は、次のようになります。

⑤ $\begin{array}{r} 234 \\ \times 7 \\ \hline 28 \\ 210 \\ \hline 1400 \\ 1638 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 638 \\ \times 9 \\ \hline 72 \\ 270 \\ \hline 5400 \\ 5742 \end{array}$

2 位ごとの計算は、右の ④ $\begin{array}{r} 777 \\ \times 7 \\ \hline 49 \\ 490 \\ \hline 4900 \\ 5439 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 575 \\ \times 8 \\ \hline 40 \\ 560 \\ \hline 4000 \\ 4600 \end{array}$
ようになります。

3 ①69 ②72 ③228

3 筆算を思いうかべて、下の位から計算してもよいですが、^{あんざん}暗算では、ふつう上の位から計算します。
 かけられる数を「何十」と「いくつ」に分けて、
 ① $3 \times 20 = 60$ 、 $3 \times 3 = 9$ だから、
 $60 + 9 = 69$
 ② $4 \times 10 = 40$ 、 $4 \times 8 = 32$ だから、
 $40 + 32 = 72$
 ③ $4 \times 50 = 200$ 、 $4 \times 7 = 28$ だから、
 $200 + 28 = 228$

 **しあげの5分レッスン** 筆算で計算するときは、位をまちがえないようにしましょう。

びっぴり3 たしかめのテスト

60~61 ページ

てびき

1 ①6 ②7 ③2

2 ①280 ②720 ③2700 ④3600

3 ① $\begin{array}{r} 72 \\ \times 3 \\ \hline 216 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 12 \\ \times 7 \\ \hline 84 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 94 \\ \times 8 \\ \hline 752 \end{array}$
 ④ $\begin{array}{r} 29 \\ \times 7 \\ \hline 203 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 226 \\ \times 3 \\ \hline 678 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 537 \\ \times 4 \\ \hline 2148 \end{array}$
 ⑦ $\begin{array}{r} 430 \\ \times 6 \\ \hline 2580 \end{array}$ ⑧ $\begin{array}{r} 167 \\ \times 6 \\ \hline 1002 \end{array}$ ⑨ $\begin{array}{r} 789 \\ \times 9 \\ \hline 7101 \end{array}$

4 ①108 ②432

5 ①138 ②2723

2 ①10のまとまりが、 $7 \times 4 = 28$ (こ)
 ②10のまとまりが、 $8 \times 9 = 72$ (こ)
 ③100のまとまりが、 $9 \times 3 = 27$ (こ)
 ④100のまとまりが、 $6 \times 6 = 36$ (こ)

3 位ごとの計算は、次のようになります。

⑧ $\begin{array}{r} 167 \\ \times 6 \\ \hline 42 \\ 360 \\ \hline 600 \\ 1002 \end{array}$ ⑨ $\begin{array}{r} 789 \\ \times 9 \\ \hline 81 \\ 720 \\ \hline 6300 \\ 7101 \end{array}$

4 ①36を30と6に分けて、
 $3 \times 30 = 90$ 、 $3 \times 6 = 18$ 、 $90 + 18 = 108$
 ②48を40と8に分けて、
 $9 \times 40 = 360$ 、 $9 \times 8 = 72$ 、
 $360 + 72 = 432$

5 ①答えの位どりをまちがえています。

$\begin{array}{r} 46 \\ \times 3 \\ \hline 18 \leftarrow 6 \times 3 \\ 120 \leftarrow 40 \times 3 \\ \hline 138 \end{array}$

②百の位へのくり上がりをまちがえています。

$\begin{array}{r} 389 \\ \times 7 \\ \hline 63 \leftarrow 9 \times 7 \\ 560 \leftarrow 80 \times 7 \\ 2100 \leftarrow 300 \times 7 \\ \hline 2723 \end{array}$

6 ^{しま}式 $375 \times 6 = 2250$ 答え 2250円

7 式 $48 \times 5 = 240$ $52 \times 5 = 260$
 $240 + 260 = 500$
 答え 500こ

8
$$\begin{array}{r} \square 7 9 \\ \times \square 8 \\ \hline \end{array}$$

6 筆算は、右のようになります。

$$\begin{array}{r} 375 \\ \times 6 \\ \hline 2250 \end{array}$$

7 筆算は、次のようになります。

$$\begin{array}{r} 48 \quad 52 \quad 240 \\ \times 5 \quad \times 5 \quad +260 \\ \hline 240 \quad 260 \quad 500 \end{array}$$

8 かけられる数とかける数は大きいほど、答えは大きくなります。

2つの口に、大きい数字からじゅんに、8、7をあてはめて計算してみましょう。

$$\begin{array}{r} \text{あ} \quad \square 8 9 \\ \times \square 7 \\ \hline 623 \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{い} \quad \square 7 9 \\ \times \square 8 \\ \hline 632 \end{array}$$

いの方が答えが大きくなります。

しあげの5分レッスン かけ算の筆算のしかたをもう1回たしかめておこう。

11 大きい数

びっぴり1 **じゃんび**

62 ページ

1 ①2000 ②70 ③62178 ④二千百七十八

ひょう表

6	2	1	7	8
---	---	---	---	---

2 ①10 ②70 ③130 ④<

びっぴり2 **練習**

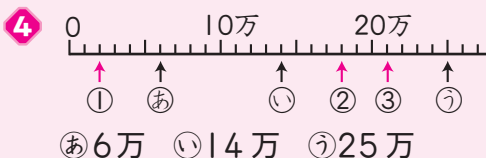
63 ページ

てびき

1 ①七万五千二百四十一
②六千二百四十万九千四百

2 ①57040 ②38625624

3 ①28619 ②27003000
③2400000



1 一の位から、4つ目と5つ目の間を区切って読みます。

② 6240 9400
万

2 位の表を書いて数をあてはめます。

	千	百	十	一	千	百	十	一
				万				
①				5	7	0	4	0
②	3	8	6	2	5	6	2	4

位に数がないときは、0を書くのをわすれないようにします。

3 ①20000と8000と600と10と9で
28619

②2000万と700万と3000で27003000

③
$$\begin{array}{r} \text{万} \\ 10000 \\ 2400000 \end{array}$$

4 小さい目もりは1万を表しています。

5 ①< ②>

5 大きい位からじゅんに数字の大きさをくらべていきます。

①十万の位は、どちらも4です。

一万の位が2と5だから、5の方が大きいです。

②十万の位は、どちらも7です。

一万の位が2と0だから、2の方が大きいです。

おうちのかたへ まずけた数を調べましょう。けた数の多いものほど大きい数になります。けた数が同じなら、上の位から数字をくらべます。

あげの5分レッスン 大きな数のしくみをもう1回たしかめておこう。

ぴったり1 **じゃんび**

64 ページ

1 2、3500、32

2 (1)177

(2)2800000、170

ぴったり2 **練習**

65 ページ

てびき

1 ①420 ②6000 ③27300 ④859000

2 ①80 ②56

3 ①29 ②740

4 ①143万 ②452万 ③670000
④280000 ⑤10257 ⑥753

1 ①右に0を1つつけた数になります。

②③右に0を2つつけた数になります。

④右に0を3つつけた数になります。

2 右はしの0を1つとった数になります。

3 ①10倍した数を10でわると、もとの数にもどります。

②74を100倍すると7400となり、

7400を10でわると740になります。

4 1万を1つ分と考えて計算します。

③26万+41万=67万→670000

④83万-55万=28万→280000

⑤⑥数が大きくなっても、筆算のしかたは同じです。たてに位をそろえて書いて、くり上がり、くり下がりに気をつけて計算します。

あげの5分レッスン 大きい数の計算をするときには、位に気をつけよう。

- 1 ①81050 ②10000(一万)、10(十)
③21370000 ④1、7

- 2 ①60万(600000)
②220万(2200000)

- 3 ①96000、102000
②6000万、7000万

- 4 ①> ②<

- 5 89000 → 90009 → 98800 → 100900

- 6 ①530 ②9800 ③39000 ④73

- 7 ①123万 ②670000

- 8 ①式 $3750000 + 2730000 = 6480000$
(375万 + 273万 = 648万)
答え 6480000(648万)人
②式 $3750000 - 2730000 = 1020000$
(375万 - 273万 = 102万)
答え 東市が1020000(102万)人多い

- 1 ①80000と1000と50を合わせて81050
です。

②520190は、520000と190です。
520000は10000(1万)を52こ集めた数、
190は10(十)を19こ集めた数です。

③2137万 → 21370000

④位の表にあてはめると、次のようになります。

千	百	十	一	千	百	十	一
万							
	7	0	1	4	9	0	3

- 2 小さい目もりは10万を表しています。

①6目もり分て60万です。

②200万と2目もり(20万)で220万です。

- 3 ①98000(9万8千)の次が100000(10万)
だから、2000ずつふえています。

②5000万の次が5500万だから、500万ずつ
ふえています。

- 4 ①どちらも6けたの数です。大きい位から数字の
大きさをくらべていきます。

十万の位は5で同じ。一万の位は3で同じ。

千の位は9と6。9の方が大きいから、

$$539278 > 536295$$

②左の数は6けた、右の数は7けただから、

$$297000 < 1890000$$

- 5 100900だけ6けたで、あとは5けたの数だから、
100900がいちばん大きいです。

のこりの3つの数は、上の位から数字をくらべて
いきます。

- 6 ①右に0を1つつけます。

②右に0を2つつけます。

③右に0を3つつけます。

④右はしの0を1つとります。

- 7 ①1万が、 $58 + 65 = 123$ (こ)です。

$$② 930000 - 260000 = 670000$$

$$(93万 - 26万 = 67万)$$

答えは数字で書きましょう。

- 8 ① 375万 ② 375万

$$\begin{array}{r} + 273万 \\ \hline 648万 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} - 273万 \\ \hline 102万 \end{array}$$

しあげの5分レッスン 大きな数を理かいることは、これからの算数の学習をするうえで、とても大切なことです。まちがえた問題はもう1回やりなおしておこう。

12 小数

びっぴり1 じゃんび

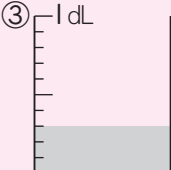
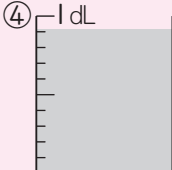
68 ページ

- 1 0.1、8、1.8
 2 ①0.1 ②0.4 ③1 ④4

びっぴり2 練習

69 ページ

てびき

- 1 ①0.7 dL ②0.4 dL
 ③  ④ 
 2 ①0.5 dL ②3.4 dL
 3 1.2 L
 4 ①0.6 cm ②2.1 cm ③4.5 cm

- 1 ①② 1 dL ますの 1 目もりは 0.1 dL です。
 目もりが何こ分あるかを 읽みます。
 ③0.3 dL は、0.1 dL の 3 こ分のかさです。
 ④0.9 dL は、0.1 dL の 9 こ分のかさです。
 2 ①0.1 dL の 5 こ分は、0.5 dL です。
 ②7 dL としないようにしましょう。
 3 1 dL ますのときと同じように考えて、1 L ますの 1 目もりは 0.1 L と表せます。0.1 L = 1 dL です。
 4 長さもかさと同じように考えて、小数で表すことができます。1 cm を 10 等分した 1 つ分は、小数で 0.1 cm と表せます。
 0.1 cm = 1 mm です。
 ①0.1 cm が 6 こ分で、0.6 cm です。
 ②2 cm と 0.1 cm 1 こ分で、2.1 cm です。
 ③4 cm と 0.1 cm 5 こ分で、4.5 cm です。

🕒 5分レッスン さいごに、はしたのあるかさや長さの小数の表し方を、もう 1 回かくにんしておこう。

びっぴり1 じゃんび

70 ページ

- 1 (1)0.9、2、9
 (2)20、29
 2 0.1、0.6、1.4

びっぴり2 練習

71 ページ

てびき

- 1 ①3、4、6 ②81.5
 2 ①12 ②2.7 ③41 ④3.3
 3 ①0.1 ②0.8 ③1.7 ④2.5 ⑤4.3
 4 ①< ②> ③>

- 1 ①34.6 は、30 と 4 と 0.6 を合わせた数です。
 ②80 と 1 と 0.5 で 81.5。
 2 ②0.1 L が 20 こで 2L、7 こで 0.7 L だから、2L と 0.7 L で 2.7 L です。
 ③4 dL は 0.1 dL が 40 こ分、0.1 dL は 1 こ分だから、40 こと 1 こで 41 こ分です。
 ④3 L と 0.3 L で 3.3 L です。
 3 1 を 10 等分しているのだから、小さい 1 目もりは 0.1 です。
 4 数直線でたしかめておきましょう。

🕒 5分レッスン 小数が 0.1 のいくつ分であるかを考えたり、小数を数直線に表したりする方ほうをもう 1 回かくにんしておこう。

1 小数点

$$\begin{array}{r} \square \ 2.3 \\ + \ 1.5 \\ \hline \square \ 3.8 \end{array}$$

2 14、2

$$\begin{array}{r} \square \ 3.4 \\ - \ 1.6 \\ \hline \square \ 1.8 \end{array}$$

びっぴり2 練習

1 ①

$$\begin{array}{r} \square \ 3.9 \\ + \ 2.6 \\ \hline \square \ 6.5 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} \square \ 0.7 \\ + \ 5.3 \\ \hline \square \ 6.0 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} \square \ 4. \square \\ + \ 3.5 \\ \hline \square \ 7.5 \end{array}$$

- 2 ①0.8 ②1.3 ③3.7 ④6.3 ⑤10
⑥10.6

3 ①

$$\begin{array}{r} \square \ 2.4 \\ - \ 1.8 \\ \hline \square \ 0.6 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} \square \ 5. \square \\ - \ 2.7 \\ \hline \square \ 2.3 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} \square \ 8.5 \\ - \ 1.5 \\ \hline \square \ 7.0 \end{array}$$

- 4 ①0.1 ②0.7 ③2.4 ④1.8 ⑤6.1
⑥0.2

1 ひっさん 筆算のしかた

たてに位をそろえて書く→整数と同じように計算する→上の小数点にそろえて、答えの小数点を打つ

②答えの小数の位のさいごが0になったら、0と小数点を消しておきます。

③4を4.0と考えましょう。

2 ⑤ 4.8 ⑥ 3.6

$$\begin{array}{r} +5.2 \\ \hline 10.0 \end{array} \quad \begin{array}{r} +7.0 \\ \hline 10.6 \end{array}$$

3 ①答えの一の位の0と小数点をわすれないようにしましょう。

②5は5.0と考えましょう。

③答えの小数の位のさいごが0になったら、0と小数点を消しておきます。

4 ② 1.3 ⑤ 7.0 ⑥ 6.2

$$\begin{array}{r} -0.6 \\ \hline 0.7 \end{array} \quad \begin{array}{r} -0.9 \\ \hline 6.1 \end{array} \quad \begin{array}{r} -6.0 \\ \hline 0.2 \end{array}$$

🔍しあげの5分レッスン まちがえた問題は、もう1回やってみよう。

びっぴり3 たしがめのテスト

- 1 ①1.6 dL ②0.9 m

- 2 ①10 ②3.2 ③0.9 ④0.4 ⑤7.2
⑥0.8

- 3 1.4 → 1 → 0.4 → 0

1 ①小さい目もりは0.1 dLです。

②小さい目もりは0.1 mです。

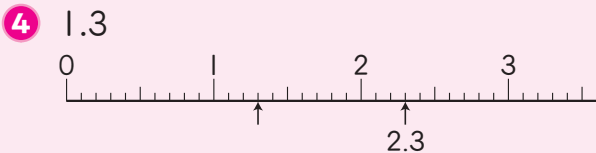
2 ②0.1が30こで3、0.1が2こで0.2だから、3と0.2で3.2です。

④1 dL=0.1 Lだから、4 dL=0.4 L

⑤1 mm=0.1 cmだから、2 mm=0.2 cm
7 cm 2 mm=7.2 cm

⑥10 cmは100 cm(1 m)を10等分した1に分だから、10 cm=0.1 mです。

3 0はいちばん小さい数、1.4は1より大きく、0.4は1より小さい数です。



- 5 ①1.2 ②5 ③5.6 ④1.4 ⑤0.7
⑥2.8

おうちのがたへ 小数も、位をそろえて書くと、整数と同じように筆算ができることを理解させます。くり上がりやくり下がりに注意すること、また、小数点を忘れないようにすることを伝えましょう。

6 ^{しき}式 $1.6 + 2.1 = 3.7$ 答え 3.7 m

7 式 $7\text{dL} = 0.7\text{L}$
 $1 - 0.7 = 0.3$ 答え 0.3 L

4 1を10等分しているのので、小さい|目もりは0.1です。

5 一の位、小数点、^{だいちい}小数第一位をたてにそろえて筆算します。

① $\begin{array}{r} 0.3 \\ +0.9 \\ \hline 1.2 \end{array}$	② $\begin{array}{r} 1.2 \\ +3.8 \\ \hline 5.0 \end{array}$	③ $\begin{array}{r} 3.0 \\ +2.6 \\ \hline 5.6 \end{array}$
--	--	--

④ $\begin{array}{r} 2.7 \\ -1.3 \\ \hline 1.4 \end{array}$	⑤ $\begin{array}{r} 2.5 \\ -1.8 \\ \hline 0.7 \end{array}$	⑥ $\begin{array}{r} 4.0 \\ -1.2 \\ \hline 2.8 \end{array}$
--	--	--

②の5.0は、小数第一位の0と小数点を消して、答えは5とします。

⑤⑥はくり下がりに注意します。

6 $\begin{array}{r} 1.6 \\ +2.1 \\ \hline 3.7 \end{array}$

7 たんいをLにそろえて計算します。
 $7\text{dL} = 0.7\text{L}$ だから、 $1 - 0.7 = 0.3(\text{L})$
 $1\text{L} - 7\text{dL} = 3\text{dL}$ 、 $3\text{dL} = 0.3\text{L}$ としてもよいです。

しあげの5分レッスン 小数の計算のしかたをもう一度たしかめておこう。

13 三角形と角

ぴったり1 じゃんび 76 ページ

1 か、3、え

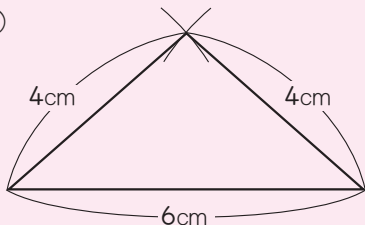
2 3、3

ぴったり2 練習 77 ページ

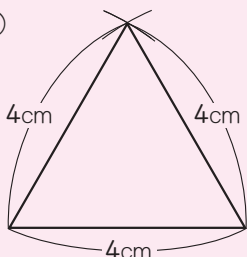
てびき

1 ^{にとうへん}二等辺三角形…①、⑤
正三角形…⑦、⑧

2 ①



②



1 二等辺三角形は2つの辺の長さが等しい三角形です。

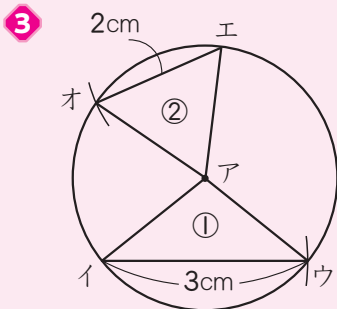
正三角形は3つの辺の長さが等しい三角形です。

2 まず、1つの辺をものさしでかきます。

次に、コンパスをのこりの2つの辺の長さに開いて、先にかいた辺の2つのはしをそれぞれ中心にして、円の一部分をかきます。

2つの円の一部分が交わった点が三角形ののこりのちよう点です。

おうちのがたへ コンパスと定規で図形をかくことを作図といいます。作図のときにかいた円の一部分の線などは、消さないで残しておきましょう。



- 3 ①円のまわりにイの点を決めます。イを中心にして半径3cmの円の一部をかき、円のまわりと交わった点をウとします。ア、イ、ウをそれぞれ直線でむすびます。
 アイ、アウは半径だから、それぞれ2cmです。
 ②円のまわりにエの点を決めます。エを中心にして半径2cmの円の一部をかき、円のまわりと交わった点をオとします。ア、エ、オをそれぞれ直線でむすびます。

🔍 **しあげの5分レッスン** 二等辺三角形と正三角形のかき方を、もう1回たしかめておこう。

ぴったり1 じゃんび 78 ページ

- 1 大きい、ア
 2 (1)ウ (2)キ、ク(キとクは入れかわってもよい。)

ぴったり2 練習 79 ページ

てびき

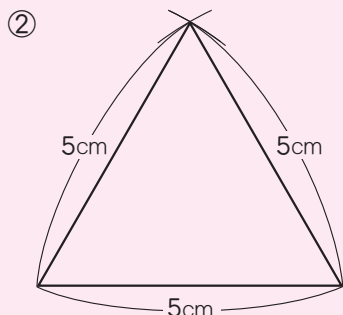
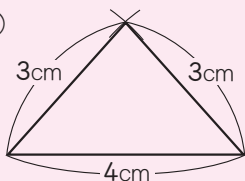
- 1 エ→イ→ア→ウ
 2 ①ウ
 ②オ、カ
 3 ①アとイ ②直角二等辺三角形
 4 ①直角二等辺三角形 ②二等辺三角形
 ③正三角形
- 1 角の大きさは、辺の長さにかんけいなく、辺の開きぐあいで決まります。
 2 二等辺三角形は2つの角の大きさが等しく、正三角形は3つの角の大きさが等しくなります。
 3 ①ウの角は直角です。
 ②二等辺三角形の中で、1つの角が直角であるものを直角二等辺三角形といいます。
 4 長さの等しい辺や大きさの等しい角にしるしをつけてみましょう。

🔍 **しあげの5分レッスン** 二等辺三角形と正三角形の辺と角について、せいしつをまとめておこう。

ぴったり3 たしがめのテスト 80~81 ページ

てびき

- 1 二等辺三角形…ウ
 正三角形…ア
 2 ①二等辺三角形 ②正三角形
 ③二等辺三角形 ④正三角形
 3 ①



- 1 二等辺三角形は2つの辺の長さが等しい三角形、正三角形は3つの辺の長さが等しい三角形です。
 3 三角形をかくために使ったコンパスの線などは、消さずにのこしておきましょう。

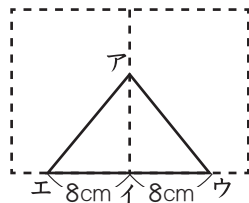
4 ①二等辺三角形 ②①とウ

5 ①二等辺三角形 ②16 cm

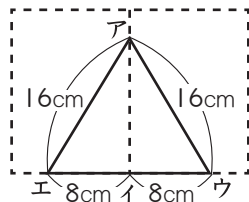
6 三角形の名前 正三角形
せつめい カキ、キク、クカは、どれも円の直径で6 cmです。3つの辺の長さが等しいので、正三角形です。

4 三角形の2つの辺は半径だから、長さは等しくなります。

5 ①開くと、右のような三角形アウエができます。アウとアエは同じ長さで、ウエは、
 $8 \times 2 = 16$ (cm)だから、二等辺三角形になります。



②ウエの長さが16 cmだから、アウを16 cmにすると、アエも16 cmになり、三角形アウエは正三角形になります。



6 直径は半径の2倍^{ばい}だから、3つの円の直径は、どれも、 $3 \times 2 = 6$ (cm)で同じです。

おうちのみなさんへ 二等辺三角形と正三角形のちがいがわかり、それぞれの性質をことばで説明できるようになるとよいですね。

あひげの5分レッスン まちがえた問題^{もんだい}をもう1回やってみよう。

14 2けたをかけるかけ算

びっぴり1 **じゃんび** 82 ページ

1 (1)120 (2)3200

2 ①48 ②320 ③368

びっぴり2 **練習** 83 ページ

1 ①90 ②400 ③540
④1800 ⑤7200 ⑥1000

2 ①

	1	3
×	2	4
	5	2
2	6	
3	1	2

②

		7	3
	×	2	1
		7	3
1	4	6	
1	5	3	3

③

	2	5
×	3	0
7	5	0

1 ①~③かけられる数やかける数を10倍^{ばい}すると、答えも10倍になります。

② $5 \times 80 = 5 \times 8 \times 10$
 $= 40 \times 10$
 $= 400$

④~⑥かけられる数とかける数をそれぞれ10倍すると、答えは100倍になります。

⑥ $20 \times 50 = 2 \times 10 \times 5 \times 10$
 $= 2 \times 5 \times 10 \times 10$
 $= 10 \times 100$
 $= 1000$

2 ③

25
×30
00 ←はぶく
75
750

かける数が何十のときは、一の位^{くわい}の計算を、はぶくことができます。

3

① $\begin{array}{r} 22 \\ \times 11 \\ \hline 22 \\ 22 \\ \hline 242 \end{array}$	② $\begin{array}{r} 23 \\ \times 32 \\ \hline 46 \\ 69 \\ \hline 736 \end{array}$	③ $\begin{array}{r} 42 \\ \times 14 \\ \hline 168 \\ 42 \\ \hline 588 \end{array}$
④ $\begin{array}{r} 64 \\ \times 38 \\ \hline 512 \\ 192 \\ \hline 2432 \end{array}$	⑤ $\begin{array}{r} 85 \\ \times 26 \\ \hline 510 \\ 170 \\ \hline 2210 \end{array}$	⑥ $\begin{array}{r} 98 \\ \times 75 \\ \hline 490 \\ 686 \\ \hline 7350 \end{array}$
⑦ $\begin{array}{r} 94 \\ \times 50 \\ \hline 4700 \end{array}$	⑧ $\begin{array}{r} 70 \\ \times 59 \\ \hline 630 \\ 350 \\ \hline 4130 \end{array}$	

3 十の位の計算の答えを書きうちに、^{ちゅうい}注意しましょう。
 ⑧交かんのきまりを^{つか}使うと、計算がかんたんになります。

$$70 \times 59 = 59 \times 70$$

$$\begin{array}{r} 59 \\ \times 70 \\ \hline 4130 \end{array}$$

🕒 10分の5分レッスン まちがえた計算は、もう1回やりなおしてみよう。

びっぴり1 じゃんび 84 ページ

- 1 ①492 ②7380 ③7872
 2 100、2700

びっぴり2 練習 85 ページ

てびき

1

①	$\begin{array}{r} \square 4 3 2 \\ \times \square 1 2 \\ \hline \square 8 6 4 \\ 4 3 2 \square \\ \hline 5 1 8 4 \end{array}$	②	$\begin{array}{r} \square \square 3 6 4 \\ \times \square 4 3 \\ \hline \square 1 0 9 2 \\ 1 4 5 6 \square \\ \hline 1 5 6 5 2 \end{array}$
---	---	---	---

③ $\begin{array}{r} \square \square 7 0 3 \\ \times \square 8 6 \\ \hline \square 4 2 1 8 \\ 5 6 2 4 \square \\ \hline 6 0 4 5 8 \end{array}$

2

① $\begin{array}{r} 134 \\ \times 22 \\ \hline 268 \\ 268 \\ \hline 2948 \end{array}$	② $\begin{array}{r} 312 \\ \times 13 \\ \hline 936 \\ 312 \\ \hline 4056 \end{array}$	③ $\begin{array}{r} 476 \\ \times 82 \\ \hline 952 \\ 3808 \\ \hline 39032 \end{array}$
---	---	---

④ $\begin{array}{r} 867 \\ \times 93 \\ \hline 2601 \\ 7803 \\ \hline 80631 \end{array}$	⑤ $\begin{array}{r} 756 \\ \times 58 \\ \hline 6048 \\ 3780 \\ \hline 43848 \end{array}$	⑥ $\begin{array}{r} 840 \\ \times 46 \\ \hline 5040 \\ 3360 \\ \hline 38640 \end{array}$
--	--	--

⑦ $\begin{array}{r} 509 \\ \times 87 \\ \hline 3563 \\ 4072 \\ \hline 44283 \end{array}$	⑧ $\begin{array}{r} 802 \\ \times 50 \\ \hline 40100 \end{array}$	⑨ $\begin{array}{r} 600 \\ \times 97 \\ \hline 4200 \\ 5400 \\ \hline 58200 \end{array}$
--	---	--

1 かけられる数が3けたになっても、かける数の位ごとに計算します。

2 十の位の計算の答えを書きうちに注意しましょう。
 ⑥~⑨0がある計算は、^{くらいど}位取りに気をつけましょう。

🏠 おうちのがたへ 大きい数のかけ算は、はじめに答えの見当をつけると、まちがいが防げます。例えば、⑦は約 $500 \times 80 = 40000$ です。計算した答えと比べて大きくずれていたら、もう一度計算しなおしてみよう。

- 3 ①3、3、300
②5、10、160

- 3 $2 \times 5 = 10$ 、 $25 \times 4 = 100$ などのように、ちょうどの数になる計算をおぼえておくべしです。
① $25 \times 4 = 100$ の計算を使うために、12を4のかけ算に分かれています。
② 交かんのきまりを使います。

おうちのかたへ 工夫することによって、計算が簡単になる場合があります。計算のきまりをどのように使うのか、考える力を養いましょう。

あげの5分レッスン ひっさん 筆算のしかたをもう1回かくにんしておこう。

びっぴり3 たしかめのテスト

86~87 ページ

てびき

- 1 ①420 ②4800

- 2 ①266 ②1242 ③4864 ④1440
⑤3360 ⑥14898 ⑦43890
⑧11452

- 3 ①
$$\begin{array}{r} 35 \\ \times 87 \\ \hline 245 \\ 280 \\ \hline 3045 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 860 \\ \times 45 \\ \hline 4300 \\ 3440 \\ \hline 38700 \end{array}$$

- 4 ①2700 ②9000 ③1000

- 1 ① $7 \times 60 = 7 \times 6 \times 10 = 420$
② $60 \times 80 = 6 \times 10 \times 8 \times 10$
 $= 48 \times 100 = 4800$

- 2 ①
$$\begin{array}{r} 19 \\ \times 14 \\ \hline 76 \\ 190 \\ \hline 266 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 54 \\ \hline 92 \\ 1150 \\ \hline 1242 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 76 \\ \times 64 \\ \hline 304 \\ 4560 \\ \hline 4864 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 36 \\ \times 40 \\ \hline 1440 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 60 \\ \times 56 \\ \hline 360 \\ 3000 \\ \hline 3360 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 382 \\ \times 39 \\ \hline 3438 \\ 11460 \\ \hline 14898 \end{array}$$

⑦
$$\begin{array}{r} 770 \\ \times 57 \\ \hline 5390 \\ 38500 \\ \hline 43890 \end{array}$$
 ⑧
$$\begin{array}{r} 409 \\ \times 28 \\ \hline 3272 \\ 8180 \\ \hline 11452 \end{array}$$

- 3 ① 35×80 の答えを書くいちをまちがっています。
② $860 \times 40 = 34400$ です。
0があるときのかけ算の答えを書くいちに注意しましょう。

- 4 ① $50 \times 27 \times 2 = 50 \times 2 \times 27$
 $= 100 \times 27$
 $= 2700$
② $40 \times 9 \times 25 = 40 \times 25 \times 9$
 $= 1000 \times 9$
 $= 9000$
③ $125 \times 8 = 25 \times 5 \times 4 \times 2$
 $= 25 \times 4 \times 5 \times 2$
 $= 100 \times 10$
 $= 1000$

5 ^{しま}式 $24 \times 19 = 456$ 答え 456 こ

6 式 $20 \times 36 = 720$ 答え 720 本

7 式 $308 \times 32 = 9856$ 答え 9856 円

$$\begin{array}{r} 24 \\ \times 19 \\ \hline 216 \\ 24 \\ \hline 456 \end{array}$$

6 計算をするときは、交かんの
きまりを使った方がかんたん
になりますが、式は 20×36
としなければいけません。
 36×20 では意味がちがいで
ます。

$$\begin{array}{r} 20 \quad 36 \\ \times 36 \quad \times 20 \\ \hline 120 \quad 720 \\ 60 \\ \hline 720 \end{array}$$

7 $300 \times 30 = 9000$ で、答えの見当をつけると、
まちがいが少なくなります。

🕒 5分レッスン 答えの見当をつけて、計算まちがいをへらそう。

15 分数

🎯 1 **じゃんび** 88 ページ

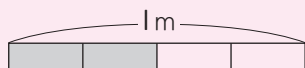
1 $5, \frac{1}{5}$

2 (1) $\frac{1}{5}$ (2) $3, \frac{3}{5}$

🎯 2 **練習** 89 ページ

1 ① $\frac{1}{2}$ L ② $\frac{2}{5}$ L ③ $\frac{5}{6}$ L

2 ① (れい)



② $\frac{1}{8}$ m ① $\frac{5}{8}$ m

3 ① $\frac{2}{7}$ m ② $\frac{4}{9}$ m

4 $\frac{3}{4}$ L

てびき

1 ① 1L を 2 等分した 1 こ分です。
② 1L を 5 等分した 2 こ分です。
③ 1L を 6 等分した 5 こ分です。

2 ① 4 等分したうちの 2 こ分のぬり方はほかにもあ
りますが、 $\frac{1}{4}$ m ずつはなさないで、くっつけ
てぬりましょう。

② $\frac{7}{8}$ 等分したうちの 1 こ分です。
① 8 等分したうちの 5 こ分です。

3 分母は、もとなる大きさを何等分したかを表し、
分子は、それを何こ集めたかを表します。

4 1L を 4 等分した 3 こ分です。

🕒 5分レッスン 分母と分子が何を表してい
るか、もう一度かくにんしておこう。

🏠 おうちのがたへ わかりづらいときは、図をかい
て考えるとよいですね。長さはテープ、かさは 1L ま
すなどの図をかいてみましょう。

🎯 1 **じゃんび** 90 ページ

1 3、4、1

2 (1) $4, >$ (2) $0.3, =$

1 ① $\frac{3}{4}$ m ② $\frac{4}{4}$ m ③ $\frac{5}{4}$ m、 $\frac{7}{4}$ m

2 ① $\frac{2}{6}$ m ② $\frac{5}{6}$ m ③ $\frac{9}{6}$ m

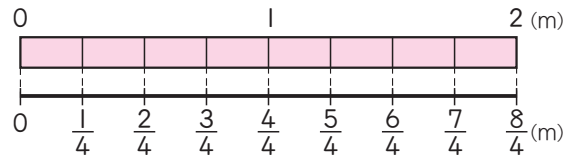
3 ① 0.3 ② $\frac{8}{10}$

③ 分数… $\frac{6}{10}$ 、小数… 0.6



4 ① < ② = ③ >

- 1 ② 分母と分子が同じ数の分数をえらびます。
③ 分子が分母より大きいとき、その分数は1より大きくなります。数直線でたしかめておきましょう。



- 2 1mを6等分しているから、数直線の1目もりは $\frac{1}{6}$ m です。

- 3 数直線は、0と1の間を10等分しているから、1目もりは、 $\frac{1}{10}$ (0.1)を表しています。

$$\frac{1}{10} = 0.1$$

- 4 ① $\frac{4}{10}$ を小数で表すと 0.4 だから、
 $0.3 < 0.4$ より、 $0.3 < \frac{4}{10}$ です。

② $\frac{9}{10}$ を小数で表すと 0.9 です。

③ $\frac{5}{5} = 1$ 、 $\frac{7}{10} = 0.7$ だから、

$1 > 0.7$ より、 $\frac{5}{5} > \frac{7}{10}$ です。

🎯 あげの5分レッスン 分数のしくみをもう一度たしかめておこう。

🏠 おうちのかなへ 分数と小数の関係はとても大切です。分母が10の分数はかならず小数になおせるようにしておきましょう。

1 (1) 4、7、 $\frac{7}{8}$ (2) 5、1

2 (1) 2、4、 $\frac{4}{9}$ (2) 4、4、 $\frac{3}{4}$

1 ① 3 ② 1 ③ 4 ④ $\frac{4}{5}$

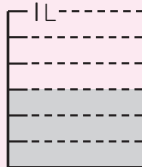


1 $\frac{1}{5}$ が $3 + 1 = 4$ (こ) だから、

$$\frac{3}{5} + \frac{1}{5} = \frac{4}{5}$$

- 2 ① $\frac{3}{5}$ ② $\frac{7}{9}$ ③ $\frac{6}{7}$ ④ $\frac{2}{4}$ ⑤ 1 ⑥ 1

- 3 ① 5 ② 2 ③ 3 ④ $\frac{3}{6}$



- 4 ① $\frac{1}{4}$ ② $\frac{2}{5}$ ③ $\frac{1}{9}$ ④ $\frac{4}{6}$ ⑤ $\frac{7}{8}$ ⑥ $\frac{7}{10}$

- 2 ①もとにする分数は $\frac{1}{5}$ だから、 $\frac{1}{5}$ がいくつ分になるかを考えます。

$$1+2=3 \text{ だから、} \frac{1}{5} + \frac{2}{5} = \frac{3}{5}$$

- ⑤答えの分母と分子が同じになったら、せいすう整数におしましよ。

$$\frac{2}{6} + \frac{4}{6} = \frac{6}{6} = 1$$

$$\textcircled{6} \frac{4}{10} + \frac{6}{10} = \frac{10}{10} = 1$$

- 3 $\frac{1}{6}$ が $5-2=3$ (こ)だから、

$$\frac{5}{6} - \frac{2}{6} = \frac{3}{6}$$

- 4 ⑤ $1 - \frac{1}{8} = \frac{8}{8} - \frac{1}{8} = \frac{7}{8}$

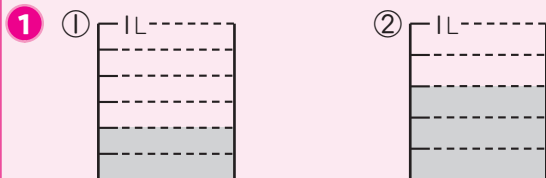
$$\textcircled{6} 1 - \frac{3}{10} = \frac{10}{10} - \frac{3}{10} = \frac{7}{10}$$

おうちのなかへ $1 = \frac{2}{2} = \frac{3}{3} = \frac{4}{4} = \dots$ のように、1がいろいろな分母の分数で表されることに、とまどいを覚える子供がいます。そのようなときは、1mのテープ図を使って、納得するまで説明してあげて下さい。

しあがの5分レッスン まちがえた計算は、もう1回やってみよう。

ぴったり3 たしがめのテスト 94~95 ページ

てびき



- 2 ① $\frac{2}{4}$ ② 5 ③ 1 ④ 11

- 3 ① < ② > ③ = ④ > ⑤ > ⑥ <

- 1 ① 1Lを6等分した2こ分に色をぬります。
② 1Lを5等分した3こ分に色をぬります。

- 2 ③ $\frac{1}{7}$ Lの7こ分は $\frac{7}{7}$ Lで、 $\frac{7}{7}$ L=1Lです。

- ④ $\frac{9}{9}$ mが1mだから、 $\frac{11}{9}$ mは1mより長くなります。
このように、1より大きい分数もあります。

- 3 ② $0.8 = \frac{8}{10}$ $\frac{7}{10} = 0.7$

分数にそろえてくらべても、小数にそろえてくらべても、どちらでもよいです。

$$\textcircled{5} \frac{10}{10} = 1 \text{ だから、} 1 > 0.1 \text{ より } \frac{10}{10} > 0.1$$

$$\textcircled{6} 1 = \frac{4}{4} \text{ だから、} \frac{4}{4} < \frac{5}{4} \text{ より } 1 < \frac{5}{4}$$

$\frac{5}{4}$ は1より大きい分数です。

- 4 ① $\frac{2}{3}$ ② $\frac{3}{4}$ ③ $\frac{7}{8}$ ④ 1 ⑤ $\frac{1}{9}$ ⑥ $\frac{4}{7}$
 ⑦ $\frac{4}{8}$ ⑧ $\frac{3}{6}$

5 式 $\frac{3}{10} + \frac{4}{10} = \frac{7}{10}$ 答え $\frac{7}{10}$ L

6 式 $1 - \frac{2}{9} = \frac{7}{9}$ $\frac{7}{9} - \frac{3}{9} = \frac{4}{9}$
 答え $\frac{4}{9}$ m

4 ④ $\frac{4}{9} + \frac{5}{9} = \frac{9}{9} = 1$

⑧ $1 - \frac{3}{6} = \frac{6}{6} - \frac{3}{6} = \frac{3}{6}$

5 合わせてだから、式はたし算になります。

おうちのかたへ 分母が10の分数は、小数で表すことができます。小数でも答えをもとめさせてみましょう。分数と小数の関係がしっかり理解できたらよいですね。

6 のこりをもとめるから、式はひき算になります。

$1 - \frac{2}{9} - \frac{3}{9} = \frac{9}{9} - \frac{2}{9} - \frac{3}{9} = \frac{4}{9}$ のように、1つ
 の式に表してもよいです。

しあげの5分レッスン 分数のしくみと計算のしかたをもう一度かくにんしておこう。

16 おも 重さ

ぴったり1 じゃんび 96 ページ

1 (1) 1000、2000 (2) 340、2、340

2 (1) 4 (2) 10、100 (3) 1、400

ぴったり2 練習 97 ページ

1 ① 1、200、1200

② 2、600、2600

③ 8、300、8300

④



2 ① 1900 ② 3、750 ③ 5040

④ 2000

3 ① t ② g ③ kg

しあげの5分レッスン 重さのはかり方とたんいをもう一度かくにんしておこう。

てびき

1 ① 大きい1目もりは 100g を表しています。

1kg と 2目もり (200g) で 1kg 200g です。

② 大きい1目もりは 100g を表しています。

2kg と 6目もり (600g) で 2kg 600g です。

③ 大きい1目もりは 1kg、次に大きい1目もりは 100g を表しています。

8kg と 3目もり (300g) で 8kg 300g です。

④ 大きい1目もりが 100g、小さい1目もりが 10g を表しているの、800g から小さい目もりで 5目もりめを指すように、はりをかき入れます。

おうちのかたへ 家にあるはかりでいろいろな物の重さをはかって、楽しみながら重さのはかり方や表し方を身につけられればよいですね。

2 ① 1kg = 1000g です。

1kg 900g は、1000g と 900g で 1900g

② 3750g は、3000g と 750g だから、

3kg と 750g で、3kg 750g

③ 5kg 40g は、5000g と 40g で 5040g

3 1g、1kg、1t のだいたいの重さがわかるようになりましょう。

- 1 ①8 ②100 ③800 ④0.4 ⑤1.4
 2 (1)2、2 (2)700、700

- 1 ①kL ②mg ③1000 ④1000

- 2 ①3、700
 ②16、200
 ③5.1
 ④20.9

- 3 式 $4\text{ kg } 300\text{ g} - 600\text{ g} = 3\text{ kg } 700\text{ g}$
 答え 3kg 700g

- 4 式 $32\text{ kg } 400\text{ g} + 800\text{ g} = 33\text{ kg } 200\text{ g}$
 答え 33kg 200g

- 1 ①1000 L = 1 kL です。
 ②1000 mg = 1 g です。
 ③もとになるたんいは、長さはm、かさはL、重さはgです。
 m(ミリ)がつくたんいを1000倍すると、m(ミリ)がとれます。もとのたんいを1000倍すると、k(キロ)がつきます。

- 2 0.1 kg = 100 g です。
 ①0.7 kg = 700 g なので、
 3.7 kg = 3 kg 700 g です。
 ④900 g = 0.9 kg なので、
 20 kg 900 g = 20.9 kg です。

- 3 右のように、筆算してもよいです
 し、次のようにgにそろえて計算してもよいです。
- | | | |
|-------|---|-----|
| kg | : | g |
| 3 | | 10 |
| 4 | | 300 |
| - | | |
| | | 600 |
| ----- | | |
| 3 | | 700 |
- $4\text{ kg } 300\text{ g} = 4300\text{ g}$
 $4300\text{ g} - 600\text{ g} = 3700\text{ g} = 3\text{ kg } 700\text{ g}$

- 4
- | | | |
|-------|---|-----|
| kg | : | g |
| 32 | | 400 |
| + | | |
| | | 800 |
| ----- | | |
| 33 | | 200 |

🕒 5分レッスン m(ミリ)がつくたんいと、k(キロ)がつくたんいについて、しっかり理かいしよう。

- 1 ①g ②kg ③g ④t
 2 ①2kg 300g ②6kg 300g
 3 3kg → 1800g → 1kg 400g
 4 ①4、620 ②3000 ③0.9
 ④1700
 5 ①1
 ②7
 ③3、400
 ④2、500

- 1 1g、1kgのだいたいの重さをおぼえましょう。
 2 ①大きい1目もりは100gです。
 2kgと3目もり(300g)で2kg 300gです。
 ②大きい1目もりは1kg、次に大きい1目もりは100gです。
 6kgと3目もり(300g)で6kg 300gです。
 3 たんいをgにそろえると、
 $3\text{ kg} = 3000\text{ g}$ $1\text{ kg } 400\text{ g} = 1400\text{ g}$
 4 ①②1000g = 1kg
 ③④100g = 0.1kg
 5 ①700g + 300g = 1000g = 1kg

- ③
- | | | |
|-------|---|-----|
| kg | : | g |
| 2 | | 900 |
| + | | |
| | | 500 |
| ----- | | |
| 3 | | 400 |
- ④
- | | | |
|-------|---|------|
| kg | : | g |
| 4 | | 10 |
| 5 | | 300 |
| - | | |
| | | 2800 |
| ----- | | |
| 2 | | 500 |

6 式 $38\text{ kg} - 15\text{ kg} = 23\text{ kg}$ 答え 23 kg

7 式 $450 \times 3 = 1350$
 $600\text{ g} + 1350\text{ g} = 1\text{ kg } 950\text{ g}$
 答え $1\text{ kg } 950\text{ g}$

6 38 kg は、さくらさんの体重と妹の体重を合わせた重さです。

7 めいぐるみ3この重さは、 $450 \times 3 = 1350(\text{g})$ です。

しあげの5分レッスン 重さのはかり方とたんの表し方をもう1回かくにんしておこう。

17 □を使った式

ぴっぴり1 じゃんび 102 ページ

1 (1)35 (2)57

2 (1)5 (2)28

ぴっぴり2 練習 103 ページ

1 ① $200 + \square = 500$ ② 300 g

2 式 $\square - 160 = 340$
 $\square = 340 + 160 = 500$
 答え 500 円

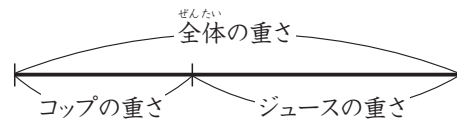
3 ① $\square \times 10 = 400$ ② 40 円

4 式 $\square \div 8 = 3$ $\square = 3 \times 8 = 24$
 答え 24 こ

しあげの5分レッスン 図をかいたり、ことばの式を考えて、数のかんけいをとらえよう。

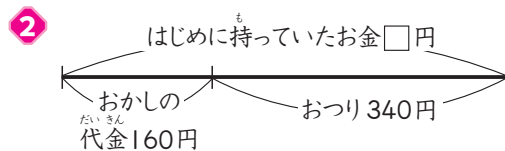
てびき

1 ① 図をかいてみましょう。

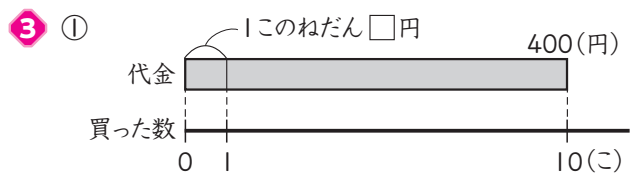


上の図から、ことばの式は、
 コップの重さ + ジュースの重さ = 全体の重さ
 です。このことばの式に、わかっている数と□
 をあてはめます。

② $200 + \square = 500$
 $\square = 500 - 200 = 300$

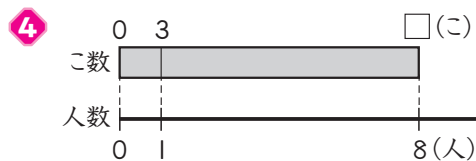


おつりをもとめるひき算の式は、
 はじめに持っていたお金 - おかしの代金 = おつり



みかん | このねだん \times こ数 = 代金です。

② $\square \times 10 = 400$
 $\square = 400 \div 10 = 40$



| 人分のこ数をもとめるわり算の式は、
 全部のこ数 \div 人数 = | 人分のこ数

- 1 ①ア全体の重さ ①りんごの重さ
ウかごの重さ
② $\boxed{\text{りんごの重さ}} + \boxed{\text{かごの重さ}} = \boxed{\text{全体の重さ}}$
③ $\square + 400 = 1200$ ④ 800 g
- 2 ①ア | このねだん ①代金 ウ買った数
② $\boxed{\text{| このねだん}} \times \boxed{\text{買った数}} = \boxed{\text{代金}}$
③ $\square \times 10 = 650$ ④ 65 円
- 3 ①37 ②87 ③68 ④7 ⑤25 ⑥72
- 4 ① $7800 + \square = 8150$
②式 $8150 - 7800 = 350$ 答え 350人
- 5 ① $\square \div 8 = 12$
②式 $12 \times 8 = 96$ 答え 96まい

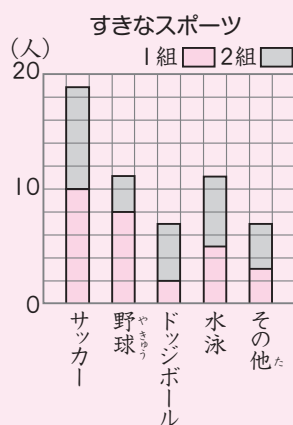
- 1 ①①と②はぎゃくでもよいです。
②りんごの重さとかごの重さはぎゃくでもよいです。
④ $\square + 400 = 1200$
 $\square = 1200 - 400 = 800$
- 2 ④ $\square \times 10 = 650$
 $\square = 650 \div 10 = 65$
- 3 ① $\square = 61 - 24 = 37$
② $\square = 235 - 148 = 87$
③ $\square = 13 + 55 = 68$
④ $\square = 49 \div 7 = 7$
⑤ $\square = 250 \div 10 = 25$
⑥ $\square = 8 \times 9 = 72$
- 4 ① $\square = \text{去年の人数} + \text{ふえた人数} = \text{今年の人数}$
- 5 ① $\text{全部のまい数} \div \text{人数} = \text{| 人分のまい数}$

🕒 5分レッスン □を使った式の書き方、□のもとめ方をもう1回かくにんしておこう。

🏠 おうちのかたへ わからない数があるときは、その数を□とすると問題文のとおりに式に表すことができることをわからせましょう。そして、その式をもとにして、わからない数(□にあてはまる数)を考えればよいことを説明しましょう。文章問題が好きになってくれたらいいですね。

18 しりょうの活用

- 1 ①サッカー ②19 ③水泳
④11 ⑤11



1 ①

1組の2番目にすきなスポーツ

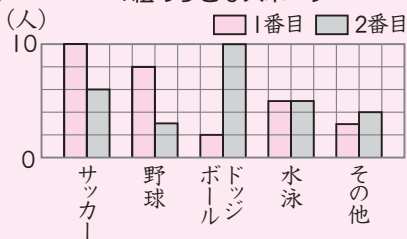
しゅるい	人数(人)
サッカー	6
野球	3
ドッジボール	10
水泳	5
その他	4
合計	28

2組の2番目にすきなスポーツ

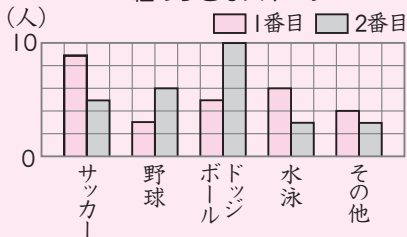
しゅるい	人数(人)
サッカー	5
野球	6
ドッジボール	10
水泳	3
その他	3
合計	27

②ア

1組のすきなスポーツ

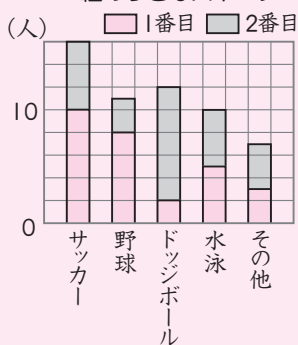


2組のすきなスポーツ

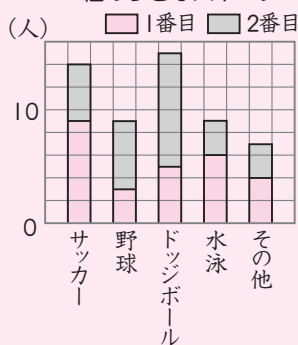


①

1組のすきなスポーツ



2組のすきなスポーツ



③サッカー、ドッジボール

1

① 1組のドッジボールは、 $12 - 2 = 10$ (人)

水泳は、 $10 - 5 = 5$ (人)

その他は、 $7 - 3 = 4$ (人)

2組のドッジボールは、 $15 - 5 = 10$ (人)

水泳は、 $9 - 6 = 3$ (人)

その他は、 $7 - 4 = 3$ (人)

② ぼうをならべたグラフにすると、1番目にすきな人の人数と2番目にすきな人の人数、それぞれのちがいがわかりやすくなります。

つみ上げぼうグラフにすると、1番目にすきな人と2番目にすきな人の人数の合計がわかりやすくなります。

③ 1番目にすきな人と2番目にすきな人の人数の合計が多いじゅんにえらびます。表からえらぶこともできますが、②の①のグラフなら、ひと目でわかります。

おうちのかたへ

与えられた資料を整理したり、整理した表やグラフから、その資料の特徴を見つけることは、4年生以後の資料の学習においてもとても大切なことです。どうやって整理したらわかりやすくなるかを、いっしょに考えてみるのもいいですね。

ふげの5分レッスン

ぼうグラフのくふうのしかたを、もう1回見なおしておこう。

19 そろばん

びっぴり1 **じゃんび** 108 ページ

- 1 (1)17 (2)102
2 ①10、5 ②2、3

びっぴり2 **練習** 109 ページ

- 1 ①136 ②620 ③41.7
2 ①6 ②1 ③10
3 ①13 ②10 ③1

てびき


- 1 ①百の位に一だまが1こ、十の位に一だまが3こ、一の位に五だまと一だまが1こです。
②百の位に五だまと一だまが1こ、十の位に一だまが2こ、一の位には何もありません。
③十の位に一だまが4こ、一の位に一だまが1こ、小数第一位に五だまと一だまが2こです。
2 9をたすことを、10をたして1をひくと考えます。1を先にひいて10をたしています。
3 9をひくことを、10を先にひいて、ひきすぎた1をあとでたしています。

しあげの5分レッスン そろばんのしくみをもう一度たしかめておこう。

おうちのかたへ 簡単なたし算とひき算の計算を出題し、そろばんで計算させてみましょう。できるようになって、計算するのが楽しくなるとよいですね。

3年のまとめ

まどめのテスト 110 ページ

- 1 ①3、3290 ②850000
③0.6、46 ④ $\frac{7}{8}$
2 
3 ①13813 ②2395 ③413 ④52500
⑤7 ⑥8あまり2 ⑦2.2 ⑧5.6
⑨1 ⑩ $\frac{1}{7}$
4 ①> ②> ③< ④=
5 しき式 $43 \div 5 = 8$ あまり3

答え 8たばできて、3本あまる

てびき

- 1 ①

千	百	十	一	千	百	十	一
万							
3	2	9	0	0	0	0	0

②100倍すると、右に0が2つついた数になります。
③0.1が10こ集まると1なので、0.1が46こで4.6です。
2 1を10等分した小さい1目もりは、 $\frac{1}{10}$ です。
3 ④
$$\begin{array}{r} 625 \\ \times 84 \\ \hline 2500 \\ 5000 \\ \hline 52500 \end{array}$$

4 ①一万の位は5で同じなので、千の位の数の大きさをくらべます。
④ $\frac{5}{10}$ を小数で表すと0.5です。

6 式 $\square \times 9 = 54$ $\square = 54 \div 9 = 6$
 答え 6こ

6 $1 \text{箱のこ数} \times \text{箱の数} = \text{全部のこ数}$

まとめのテスト 111 ページ

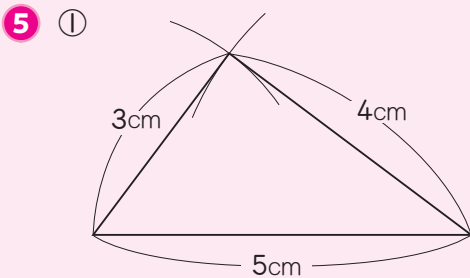
てびき

- 1 ①2370 ②2、35
 ③6、20 ④900

- 2 ①2時間40分 ②午後5時30分

3 式 $970 \text{ g} + 680 \text{ g} = 1 \text{ kg } 650 \text{ g}$
 答え 1 kg 650 g

- 4 64 cm



②正三角形



1 $1 \text{ km} = 1000 \text{ m}$ $1 \text{ 分} = 60 \text{ 秒}$

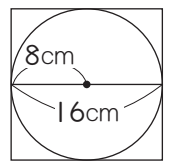
$1 \text{ kg} = 1000 \text{ g}$ $0.1 \text{ kg} = 100 \text{ g}$

2 ①
$$\begin{array}{r} 10 \quad 60 \\ \cancel{1} \text{時 } 25 \text{分} \\ - 8 \quad 45 \\ \hline 2 \text{時 } 40 \text{分} \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 3 \text{時 } 50 \text{分} \\ + 1 \quad 40 \\ \hline 1 \quad 90 \\ \hline 5 \text{時 } 30 \text{分} \end{array}$$

3
$$\begin{array}{r} \text{kg} \quad \text{g} \\ 970 \\ + 680 \\ \hline 1650 \end{array}$$

4 正方形の1つの辺の長さは、円の直径の長さと同じく、 $8 \times 2 = 16 \text{ (cm)}$ だから、 $16 \times 4 = 64 \text{ (cm)}$ です。



- 5 ① 1つの辺をかいたあと、辺のりょうはしの点をそれぞれ中心にして、のこりの2つの辺の長さを半径とする円の一部分をかきます。円の一部分が交わった点をのこりのちょう点とします。
 ② 3つの辺の長さが等しい三角形は正三角形です。

- 6 グラフの1目もりは、10 さつを5等分しているので2さつです。

すじ道を立てて考えよう

プログラミングのプ 112 ページ

てびき

- ☆ ①) ②◆

- ☆ ① 「|ぽすすむ」で★マークに動かし、「右をむく」「2ほすすむ」で●マークに動かし、「左をむく」「|ぽすすむ」で)マークに動かします。
 ② 「2ほすすむ」「右をむく」を「3かいくりかえす」で♣マークに動かし、「|ぽすすむ」で◆マークに動かします。



- 1 ①6 ②4
③2、72
- 2 ①100 ②2、10 ③2030 ④1、408

3 ①
$$\begin{array}{r} 607 \\ +195 \\ \hline 802 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 782 \\ -368 \\ \hline 414 \end{array}$$

- 4 ①457 ②573

- 5 ①0 ②60 ③7 ④5 ⑤9 ⑥8
⑦8 ⑧0

- 6 36、4

- 7 ①2分間 ②14分間



8 ^{しき}式 $600\text{ m} + 900\text{ m} = 1\text{ km } 500\text{ m}$
 $1\text{ km } 500\text{ m} - 1\text{ km } 100\text{ m} = 400\text{ m}$
 答え 400 m

9 ①式 $8\text{ 時 } 50\text{ 分} + 2\text{ 時間 } 20\text{ 分}$
 $= 11\text{ 時 } 10\text{ 分}$
 答え 午前 11 時 10 分

②式 $7\text{ 時 } 30\text{ 分} - 4\text{ 時 } 45\text{ 分} = 2\text{ 時間 } 45\text{ 分}$
 答え 2 時間 45 分

- 10 ①㉞38 ①51 ㉞108
②1組の女子の人数

- 1 ③かけ算では、かけられる数やかける数を分けて計算しても、答えは同じになります。

2 ①②1分=60秒
③④1km=1000m

- 3 たてに位をそろえて書き、一の位からじゅんに計算していきます。くり上がり、くり下がりに気をつけましょう。

4 ① $357 + 66 + 34 = 357 + (66 + 34)$
 $= 357 + 100 = 457$
 ② $274 + 299 = (274 - 1) + (299 + 1)$
 $= 273 + 300 = 573$

- 5 ①どんな数に0をかけても、答えは0です。
⑧0をどんな数でわっても、答えは0です。

- 6 全部の数を同じ数ずつ何人かで分けるときの、1人分の数をもとめる問題を作っています。

- 7 ①10分を5目もりで表しているから、1目もり分は、 $10 \div 5 = 2$ (分間)
②みのるさんは30分、あきらさんは16分です。ちがいは、 $30 - 16 = 14$ (分間)
目もりのちがいで考えることもできます。目もりのちがいは7目もり分だから、 $2 \times 7 = 14$ (分間)

- ③12分間は6目もり分にあたります。

8 道のりは1km 500m、
きよりは1km 100mです。

$$\begin{array}{r} \text{km} \quad \text{m} \\ 1500 \\ -1100 \\ \hline 400 \end{array}$$

9 ①
$$\begin{array}{r} 8\text{ 時 } 50\text{ 分} \\ + 2\text{ 時間 } 20\text{ 分} \\ \hline 11\text{ 時 } 10\text{ 分} \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 6\text{ 時 } 30\text{ 分} \\ - 4\text{ 時 } 45\text{ 分} \\ \hline 2\text{ 時 } 45\text{ 分} \end{array}$$

- 10 ①㉞19+19=38(人)
①15+17+19=51(人)
㉞57+①=57+51=108(人)
または、33+37+38=108(人)

②「1組」の列と「女子」のだんの交わったところだから、1組の女子の人数を表します。

男女	1組	2組
男子	18	20
女子	15	17
合計	33	37



冬のチャレンジテスト

てびき

1 ①3700000 ②3040000

2 ①40万 ②180万

3 ①1 ②34

4 ①1.5 ②4.2 ③0.6 ④5.4

5 ①答え 7あまり2

たしかめ $5 \times 7 + 2 = 37$

②答え 5あまり3

たしかめ $8 \times 5 + 3 = 43$

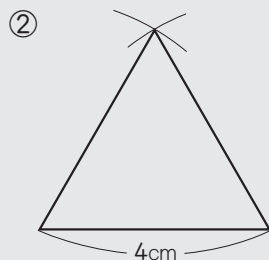
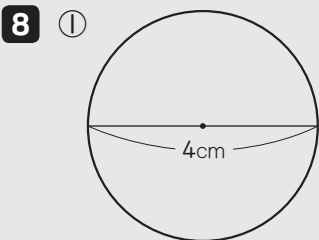
6 ①
$$\begin{array}{r} 29 \\ \times 6 \\ \hline 174 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 76 \\ \times 4 \\ \hline 304 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 354 \\ \times 8 \\ \hline 2832 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 609 \\ \times 7 \\ \hline 4263 \end{array}$$

7 にとうへんさんかくけい二等辺三角形...⑤
正三角形...①



9 ウ→イ→エ→ア

10 18 cm

1 ①300万と70万を合わせると、370万です。

2 数直線の1目もりは10万を表します。

3 ②
$$3.4 \begin{cases} 3 \rightarrow 0.1 \text{を} 30 \text{こ} \\ 0.4 \rightarrow 0.1 \text{を} 4 \text{こ} \\ \hline 0.1 \text{を} 34 \text{こ} \end{cases}$$

4 ひっさん つぎ筆算は次のようになります。

①
$$\begin{array}{r} 0.6 \\ +0.9 \\ \hline 1.5 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 2.5 \\ +1.7 \\ \hline 4.2 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 310 \\ \times 4 \\ \hline 1240 \end{array}$$
 ④
$$\begin{array}{r} 510 \\ \times 6 \\ \hline 3060 \end{array}$$

5 わりきれないときは、あまりをもとめます。

あまりは、わる数より小さくなるようにします。
たしかめの式の答えがわられる数になれば、計算の答えは合っています。

6 ②
$$\begin{array}{r} 76 \\ \times 4 \\ \hline 304 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 609 \\ \times 7 \\ \hline 4263 \end{array}$$

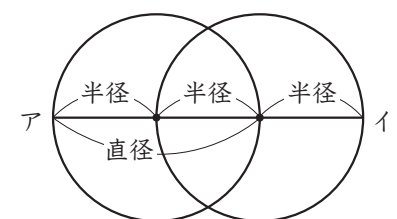
7 2つの辺の長さが等しい三角形が二等辺三角形、
3つの辺の長さが等しい三角形が正三角形です。

8 ①直径4cmの円の半径は、 $4 \div 2 = 2$ (cm)だから、コンパスを2cmに開いて円をかきます。

②長さ4cmの1つの辺をかきます。
辺の両はしをそれぞれ中心にして、コンパスで半径4cmの円の一部をかきます。
2つの円の一部が交わった点とさいしょにかいた辺の両はしをそれぞれ直線でむすびます。

9 角の大きさは、辺の長さにかんけいなく、辺の開きぐあいで決まります。

10 直線アイの長さは、直径と半径をたした長さになります。



半径は、 $12 \div 2 = 6$ (cm)だから、

$12 + 6 = 18$ (cm)

半径の3倍の長さと考えて、 $6 \times 3 = 18$ (cm)ともとめることもできます。

11 式 $40 \div 6 = 6$ 余り 4 $6 + 1 = 7$
 答え 7つ

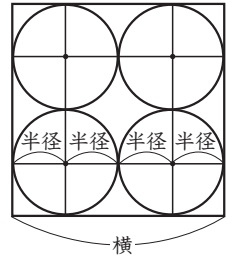
12 式 $0.7 + 1.3 = 2$ 答え 2L

13 ① 8cm ② 2cm

11 40 このりんごを6こずつかごにのせると、りんごが6このったかごが6つできて、りんごが4こあまります。あまった4こもかごにのせるから、かごは7つあります。

12
$$\begin{array}{r} 0.7 \\ + 1.3 \\ \hline 2.0 \end{array}$$

13 ①箱を上から見ると正方形です。テープの長さは、正方形のまわりの長さです。箱の横の長さは正方形の1つの辺の長さだから、 $32 \div 4 = 8$ (cm)



②ボールの半径4つ分の長さが8cmだから、半径は、 $8 \div 4 = 2$ (cm)



春のチャレンジテスト



2 ① 1 kg 300 g ② 2 kg 600 g

3 ① 2050 ② 1

4 ① < ② < ③ > ④ =

5 ① 3192 ② 1064
 ③ 18468 ④ 42398

てびき

1 $\frac{3}{7}$ L は、1L を 7 等分した 3 つ分です。

2 ① 大きい目もりは 100 g を表しています。
 ② 大きい目もりは 100 g を表しています。

3 ① 1 kg = 1000 g です。
 $2 \text{ kg } 50 \text{ g} = 2 \text{ kg} + 50 \text{ g}$
 $= 2000 \text{ g} + 50 \text{ g} = 2050 \text{ g}$

4 ② $1 = \frac{3}{3}$ です。 $\frac{2}{3} < \frac{3}{3}$ だから、 $\frac{2}{3} < 1$

③ $0.8 = \frac{8}{10}$ 、 $\frac{7}{10} = 0.7$ です。

5 ①
$$\begin{array}{r} 76 \\ \times 42 \\ \hline 152 \\ 304 \\ \hline 3192 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 38 \\ \times 28 \\ \hline 304 \\ 76 \\ \hline 1064 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 324 \\ \times 57 \\ \hline 2268 \\ 1620 \\ \hline 18468 \end{array}$$
 ④
$$\begin{array}{r} 493 \\ \times 86 \\ \hline 2958 \\ 3944 \\ \hline 42398 \end{array}$$

6 ① $\frac{4}{5}$ ② 1 ③ $\frac{3}{9}$ ④ $\frac{3}{4}$

7 ① 900 ② 606 ③ 540 ④ 9

8 ① 2、200
② 1、800

9 ア 1 ① 0 ㊦ 3

10 ^{しき}式 $205 \times 32 = 6560$ 答え 6560円

11 ① $\square - 460 = 290$
②式 $290 + 460 = 750$ 答え 750円

12 ① $\frac{1}{6}$ ② 3こ

6 ② $\frac{4}{8} + \frac{4}{8} = \frac{8}{8} = 1$

④ $1 - \frac{1}{4} = \frac{4}{4} - \frac{1}{4} = \frac{3}{4}$

7 ① $\square = 620 + 280 = 900$
② $\square = 1001 - 395 = 606$
③ $\square = 54 \times 10 = 540$
④ $\square = 72 \div 8 = 9$

8 ①
$$\begin{array}{r} \text{kg} \quad \text{g} \\ 1400 \\ + 800 \\ \hline 2200 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} \text{kg} \quad \text{g} \\ 310 \\ 4100 \\ - 2300 \\ \hline 1800 \end{array}$$

9 アからもとめます。一の位くわいの計算で、 $\text{ア}45$
 $\text{ア}45 \times 3 = 435$ です。筆算ひっさんで表すと右のようになるから、右の□は3です。
 $\text{ア} \times 3 = 3$ より、アは1です。
 十の位の計算で、 $145 \times 2 = 290$ より、①は0です。
 ①がわかったので、筆算の位ごとの計算の答えをたして、 $435 + 290 = 3335$ より、㊦は3です。

$$\begin{array}{r} \text{ア}45 \\ \times 3 \\ \hline 15 \\ 12 \\ \square \\ \hline 435 \end{array}$$

10
$$\begin{array}{r} 205 \\ \times 32 \\ \hline 410 \\ 615 \\ \hline 6560 \end{array}$$

11 ①もっていたお金－ケーキの代金だいきん＝のこりのお金
 ②もっていたお金をもとめる式は、
 のこりのお金＋ケーキの代金＝もっていたお金
 となります。

12 作ることができる分数は、
 $\frac{1}{6}$ 、 $\frac{2}{6}$ 、 $\frac{3}{6}$ 、 $\frac{4}{6}$ 、 $\frac{5}{6}$ 、 $\frac{6}{6}$ の6こです。
 ② $1 = \frac{6}{6}$ だから、 $\frac{2}{6}$ より大きく $\frac{6}{6}$ より小さい
 分数は、 $\frac{3}{6}$ 、 $\frac{4}{6}$ 、 $\frac{5}{6}$ の3こです。

1 ①99064000 ②35200000

2 ①0 ②60 ③3 ④42 ⑤902
⑥588 ⑦1075 ⑧4875

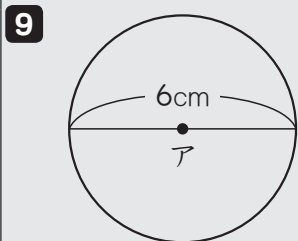
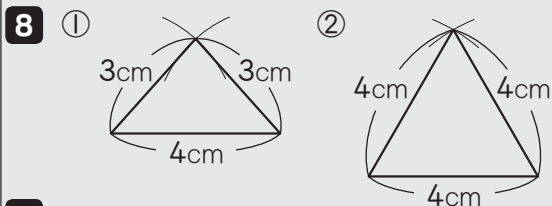
3 ①0.4 dL ②2.9 cm

4 ① $\frac{2}{5}$ ② $\frac{4}{7}$

5 ①> ②< ③= ④<

6 ①7010 ②60 ③1、27 ④5

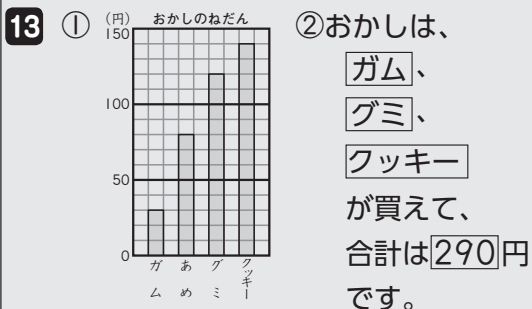
7 ①420 ②3、600



10 ①6 cm ②18 cm

11 ①式 $40 \div 8 = 5$ 答え 5こ
②式 $40 \div 6 = 6$ あまり4
($6 + 1 = 7$) 答え 7こ

12 ① $38 - \square = 25$ ②13



14 ①式 $390 + 700 = 1090$
($1090 \text{ m} = 1 \text{ km } 90 \text{ m}$)
答え 1 km 90 m

②近いのは、アの道
わけ…(れい)アの道のりは1370 m、
①の道のりは1530 mで、ア
の道のりのほうが短いから。

3 ①1 dL を10等分したうちの4こ分なので、
0.1 dL が4こ分で0.4 dL です。

4 ①1 m を5等分した1こ分は $\frac{1}{5}$ m だから、2こ分は
 $\frac{2}{5}$ m です。

6 ①1 km = 1000 m ②③1分 = 60秒 ④1000 g = 1 kg

7 ①いちばん小さい1目もりは5 g です。

②いちばん小さい1目もりは20 g です。

8 どちらもまずは1つの辺をかきます。その辺のりょうはし
にコンパスのはりをさして、それぞれの辺の長さを半径と
する円をかきます。円の交わる点がちょう点です。
①は、3 cm の辺をいちばん下にかいても正かいです。

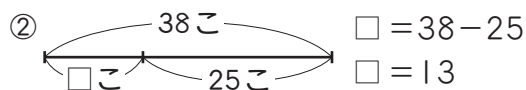
9 直径6 cm の円は、半径が3 cm になるので、コンパスの
はりとしんの間は3 cm にします。

10 ①箱の横の長さは12 cm で、横はボールの直径2こ分の
長さなので、ボールの直径は、 $12 \div 2 = 6$ で6 cm です。
②箱のたての長さはボールの直径3こ分の長さなので、
 $6 \times 3 = 18$ で、18 cm です。

11 ①同じ数ずつ分けるので、わり算を使います。

② $40 \div 6 = 6$ あまり4なので、6こずつ箱に入れると、
6こ入った箱は6こできて、4このたまごがあまります。
そこで、このあまったたまごを入れるために、もう1こ
の箱がいります。だから、 $6 + 1 = 7$ で、7この箱がい
ります。 $6 + 1 = 7$ という式ははぶいて、答えを7こと
していても正かいです。

12 ①はじめの数 - 食べた数 = のこりの数



13 ①ぼうグラフの1目もりは、10円です。

②3このねだんをたして、300円にいちばん近くなるも
のを考えます。ぼうグラフをみて考えたり、いろいろな
組み合わせで合計を考えたり、くふうして答えをもとめ
ます。また、ガム、グミ、クッキーのじゅん番は、入れ
かわっていても正かいです。

14 ① $1090 \text{ m} = 1 \text{ km } 90 \text{ m}$ という式ははぶいて、答えを
1 km 90 m としていても正かいです。

②アの道のりは、 $420 + 950 = 1370 \text{ (m)}$ 、

①の道のりは、 $650 + 880 = 1530 \text{ (m)}$ です。

わけは、「アの道のりが1370 m」「①の道のりが1530 m」
「アの道のりのほうが短い」ということが書けていれば正
かいです。もちろん上の計算を書いても正かいです。